

# 現代の 歴史総合

みる・読みとく・考える

81 山川 歴総 708

久保文明 中村尚史

令和4年度用  
(2022年度用)

山川出版社  
内容解説資料

この資料は、  
令和4年度用高等学校教科書の  
内容解説資料として  
一般社団法人教科書協会  
「教科書発行者行動規範」に  
則っております。

1



1969

1989



2019



1920s

1927



1969



1970



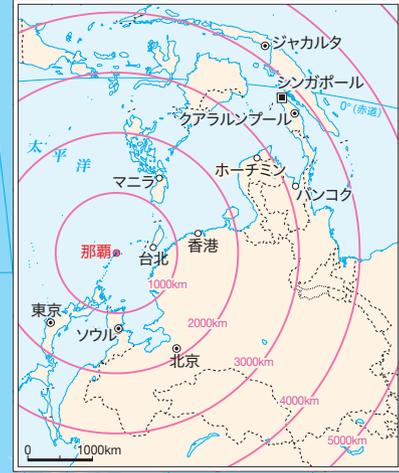
ダイジェスト版

山川出版社

東アジア・東南アジア地域



歴史総合の学習  
徐々に世界へと  
返しに「東アジ  
ました。取り扱  
つ学習を進めて  
「那覇を中心と  
た地図になって  
ていた琉球とア



那覇を中心とした正距方位図法

は、18世紀の東アジア地域から視点を広げていく形で進んでいくため、表見ア・東南アジア地域」の拡大図を設けられる地域の基本地理などを確認していただけれます。

した正距方位図法」は、南北を逆にしおり、18世紀には日本と世界とを結んアジア諸地域との距離感を実感できます。

歴史総合では、人間の歩みについて、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みと関連づけながら学習します。

近代より前の時代が重要でないという意味ではありません。当然ながら、近代に至るまでの経緯を理解することも大事です。しかし、みなさんが今生きている日本および世界の現在がどのようにしてでき上がったかについて学習することも同じように、あるいはそれ以上に重要です。

現在の日本の政治・経済・社会・文化のあり方は、固有の長い歴史の産物ではありますが、過去数百年のあいだに大きく変容し、とりわけ明治維新を経て、さらには第二次世界大戦後に、大きく形を変えました。この流れのなかで、海外との接触や交流が果たした役割も決して小さなものではありませんでした。すでに江戸時代以前から海外の文化は流入していましたが、明治維新以降それは急増しました。欧米の脅威に対する危機感にも触発され、明治政府が組織され、その後戦争も経験しました。現在の政治制度の基本は第二次世界大戦後に形成されています。海外との経済的なつながりは、「鎖国」の時期にすら存在していましたが、開国以来飛躍的に密になりました。

ここ数百年の日本の歴史は、海外の動向を無視して理解することがほとんど不可能といってよいでしょう。海外の動きによって日本の歴史が完全に左右されているわけではありませんが、日本が海外の動きから切り離されて歩んでいるわけではないのです。そして、世界とのつながりは、経済の相互依存が進むほど、人の移動が多くなるほど、そして情報の流通が速くかつ容易になればなるほど、密接になります。

歴史総合では、やや大きさに表現すると人類の歴史のもっとも新しい部分を、言い換えると、人間の歴史の到達点を学ぶことでもあります。人間は今日に至るまでの歴史で、何をどこまで成し遂げたのかについても考えてみましょう。それは、今日の日本と世界の国々の政治・経済・社会・文化あるいはそれらの相互作用について学ぶことでもありますし、現代に生きる1人の市民、国民、あるいは地球市民としての基本的教養あるいは知識でもあります。みなさんが、「地理総合」や「公共」の科目で学ぶこととも接続し、また重なってくることと思います。

そして最終的には、人間社会の近い過去を学び、現在について考えるだけでなく、ぜひとも将来についても思いを馳せてください。みなさんはどのような歴史をつくっていきたいですか。

巻頭付録として、「歴史総合」で扱う以前の  
世界を同時代の地図で示しています。

目次

世界のつながり ..... 4  
2世紀の世界 / 8世紀の世界 / 13世紀の世界 /  
16世紀の世界 / 18世紀の世界

第Ⅰ部 近代化と私たち ..... 12

1 交通と貿易 / 2 産業と人口 / 3 権利意識と政治参加、国民  
の義務 / 4 学校教育 / 5 労働と家族 / 6 移民

第1章 結びつく世界と日本の開国 ..... 18

1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 ..... 20  
2 貿易が結んだ世界と日本 ..... 24  
3 産業革命 ..... 28  
4 中国の開港と日本の開国 ..... 34

第2章 国民国家と明治維新 ..... 38

1 市民革命 ..... 40  
2 国民国家とナショナリズム ..... 44  
3 明治維新 ..... 48  
4 日本の産業革命 ..... 54  
5 帝国主義 ..... 58  
6 変容する東アジアの国際秩序 ..... 62  
7 日露戦争と東アジアの変動 ..... 66

●近代化と現代的な諸課題 ..... 70  
① 開発・保全 ② 対立・協調 ③ 自由・制限

各テーマは、世界と日本を関連づけて記述しています。

「資料を活用する技能を習得」し、課題意識をもた  
せるため「みづから問いを表現する」ページです。



- この教科書は「歴史の扉」と第Ⅰ部～第Ⅲ部で構成されています。
- 歴史の扉①では、身近な事柄から日本や世界の歴史にアプローチして  
いきます。歴史の扉②では、資料の取扱い方について学びます。
- 各部の初めには5～7つの事例について、資料と問いが設けられて  
います。それぞれの資料をみて、気がついたこと、もっと知りたい  
と思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみましょう。
- つぎの各章で、具体的な事柄を通じて歴史的な見方・考え方を学び  
ましょう。
- 各部の最後には「現代的な諸課題」のページが設けられています。  
各章で学んだことを振り返って、様々な観点から考えてみましょう。

年間指導計画例 (月/時数)

歴史の扉① 歴史と私たち ..... 8 4月 1  
現代の私たちと旅  
歴史の扉② 歴史の特質と資料 ..... 10 4月 1  
歴史資料とは何だろうか

第Ⅱ部 国際秩序の変化や  
大衆化と私たち ..... 76

1 20世紀の国際関係の緊密化 / 2 アメリカ合衆国とソヴィエ  
ト連邦の台頭 / 3 植民地の独立 / 4 大衆の政治的・経済的・社  
会的地位の変化 / 5 生活様式の変化

第3章 総力戦と社会運動 ..... 82

1 第一次世界大戦の展開 ..... 84 7月 1  
2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ..... 88 1  
3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ..... 92 2  
4 世界経済の変容と日本 ..... 96 1  
5 アジアのナショナリズム ..... 100 1  
6 大衆の政治参加 ..... 104 9月 1  
7 消費社会と大衆文化 ..... 108 1

第4章 経済危機と第二次世界大戦 ..... 112

1 世界恐慌の時代 ..... 114 1  
2 ファシズムの伸長と共産主義 ..... 118 1  
3 日中戦争への道 ..... 122 2  
4 第二次世界大戦の展開 ..... 126 10月 2  
5 第二次世界大戦下の社会 ..... 132 1  
6 国際連合と国際経済体制 ..... 136 1  
7 占領と戦後改革 ..... 140 1  
8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ..... 144 1  
9 日本の独立と日米安全保障条約 ..... 148 11月 1

●国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ..... 152 2  
① 対立・協調 ② 統合・分化 ③ 平等・格差

▶動画にアクセスしよう!

QRコード: NGOの歴史 (→p.239) 自衛隊の国際貢献 (NHK for Schoolより)

本書掲載の2次元コードからインターネットを使用  
した学習ができます。2次元コードの使用にあた  
って使用料はかかりませんが、通信料がかかります  
。インターネットを使用する際には、先生の許  
可を得たうえで使用してください。また、使用にあ  
たっては個人情報の扱いに十分注意してください。

【凡例】 1. 年代は西暦を主とし、日本の年号は( )のなかに入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、日本に関する年月は日本暦をもとにし、西暦に換算し  
なかつた。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。  
2. 文字資料はできるだけ必要な部分にとどめ、適宜、省略・現代語訳・表記の変更などをおこなった。  
3. 国名は、つぎのように表記する場合がある。〔日本：日、中国：中、韓国：韓、アメリカ：米、ロシア：露、イギリス：英、フランス：仏、ドイツ：独、イタリア：伊、オランダ：  
蘭、ソヴィエト社会主義共和国連邦：ソ〕

「歴史的な見方・考え方」を促す基本的な問いをわかりやすく示しています。



第Ⅲ部 グローバル化と私たち ..... 158

- 1 冷戦と国際関係 / 2 人と資本の移動 / 3 高度情報通信 / 4 食料と人口 / 5 資源・エネルギーと地球環境 / 6 感染症 / 7 多様な人々の共存

11月

第5章 冷戦と世界経済 ..... 166

- 1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ..... 168
- 2 東西両陣営の動向と1960年代の社会 ..... 174
- 3 軍拡競争から緊張緩和へ ..... 180
- 4 地域連携の形成と展開 ..... 184
- 5 計画経済とその波及 ..... 188
- 6 日本の高度経済成長 ..... 192
- 7 アジアのなかの戦後日本 ..... 196

12月

1月

1月



第6章 世界秩序の変容と日本 ..... 200

- 1 石油危機 ..... 202
- 2 アジア諸地域の経済発展 ..... 206
- 3 市場開放と経済の自由化 ..... 210
- 4 情報技術革命とグローバリゼーション ..... 214
- 5 冷戦の終結とソ連の崩壊 ..... 218
- 6 現代の東アジア ..... 222
- 7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 ..... 226
- 8 地域統合の拡大と変容 ..... 230
- 9 地域紛争と国際社会 ..... 234
- 10 現代と私たち ..... 240

● 現代的な諸課題の形成と展望 ..... 242

1月

2月

2月

3月

予備 2 計 70時間

- 年表 ..... 244
- 索引 ..... 250
- 現代の世界 / 東アジア・東南アジア地域 ..... 表見返し

地球温暖化が関係していると考えられる現象 / 石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給 / 世界の自然 ..... 裏見返し

地理総合との連携もスムーズな温暖化や天然資源の資料を巻末付録に掲載しています。

### 5 計画経済とその波及

社会主義とその計画経済が20世紀後半の世界に与えた影響は何だろうか？

① あんなにも大きな賑わいを迎えているのだろうか。  
② あんなにも大きな賑わいを迎えているのだろうか。  
③ 食糧の確保ははたかどうだろうか。

④ 計画経済の利点  
⑤ 計画経済の欠点

年	出来事
1917	ロシア革命
1929	ソ連の5年計画開始
1949	中国の1年計画開始
1952	東ドイツの1年計画開始
1953	北朝鮮の1年計画開始
1958	中国の大躍進運動開始
1960	インドの5年計画開始
1961	キューバの1年計画開始
1962	北ベトナムの1年計画開始
1968	北朝鮮の5年計画開始
1970	中国の5年計画開始
1976	北ベトナムの5年計画開始
1978	中国の改革開放
1980	北朝鮮の10年計画開始
1985	中国の改革開放の深化
1989	東欧革命
1990	ソ連の崩壊
1991	東ドイツの統一
1992	中国の10年計画開始
1993	北朝鮮の10年計画開始
1994	北ベトナムの10年計画開始
1995	中国の10年計画開始
1996	北朝鮮の10年計画開始
1997	北ベトナムの10年計画開始
1998	中国の10年計画開始
1999	北朝鮮の10年計画開始
2000	北ベトナムの10年計画開始
2001	中国の10年計画開始
2002	北朝鮮の10年計画開始
2003	北ベトナムの10年計画開始
2004	中国の10年計画開始
2005	北朝鮮の10年計画開始
2006	北ベトナムの10年計画開始
2007	中国の10年計画開始
2008	北朝鮮の10年計画開始
2009	北ベトナムの10年計画開始
2010	中国の10年計画開始
2011	北朝鮮の10年計画開始
2012	北ベトナムの10年計画開始
2013	中国の10年計画開始
2014	北朝鮮の10年計画開始
2015	北ベトナムの10年計画開始
2016	中国の10年計画開始
2017	北朝鮮の10年計画開始
2018	北ベトナムの10年計画開始
2019	中国の10年計画開始
2020	北朝鮮の10年計画開始
2021	北ベトナムの10年計画開始
2022	中国の10年計画開始

### 4 トラクター操縦手

① トラクター操縦手は、社会主義を象徴する職業の一つとして知られている。...

### 4 トラクター操縦手

① トラクター操縦手は、社会主義を象徴する職業の一つとして知られている。...

### 第三世界からアメリカとソ連

① 第三世界からアメリカとソ連は、冷戦時代の重要な対立軸となっていた。...

### 計画経済の広が

① 計画経済は、社会主義の重要な特徴の一つとして知られている。...

テーマ全体の問い  
このテーマで考えたい  
事柄が問いの形で示  
されています。

導入図版と問い  
問いをもとに読みとい  
てみましょう。

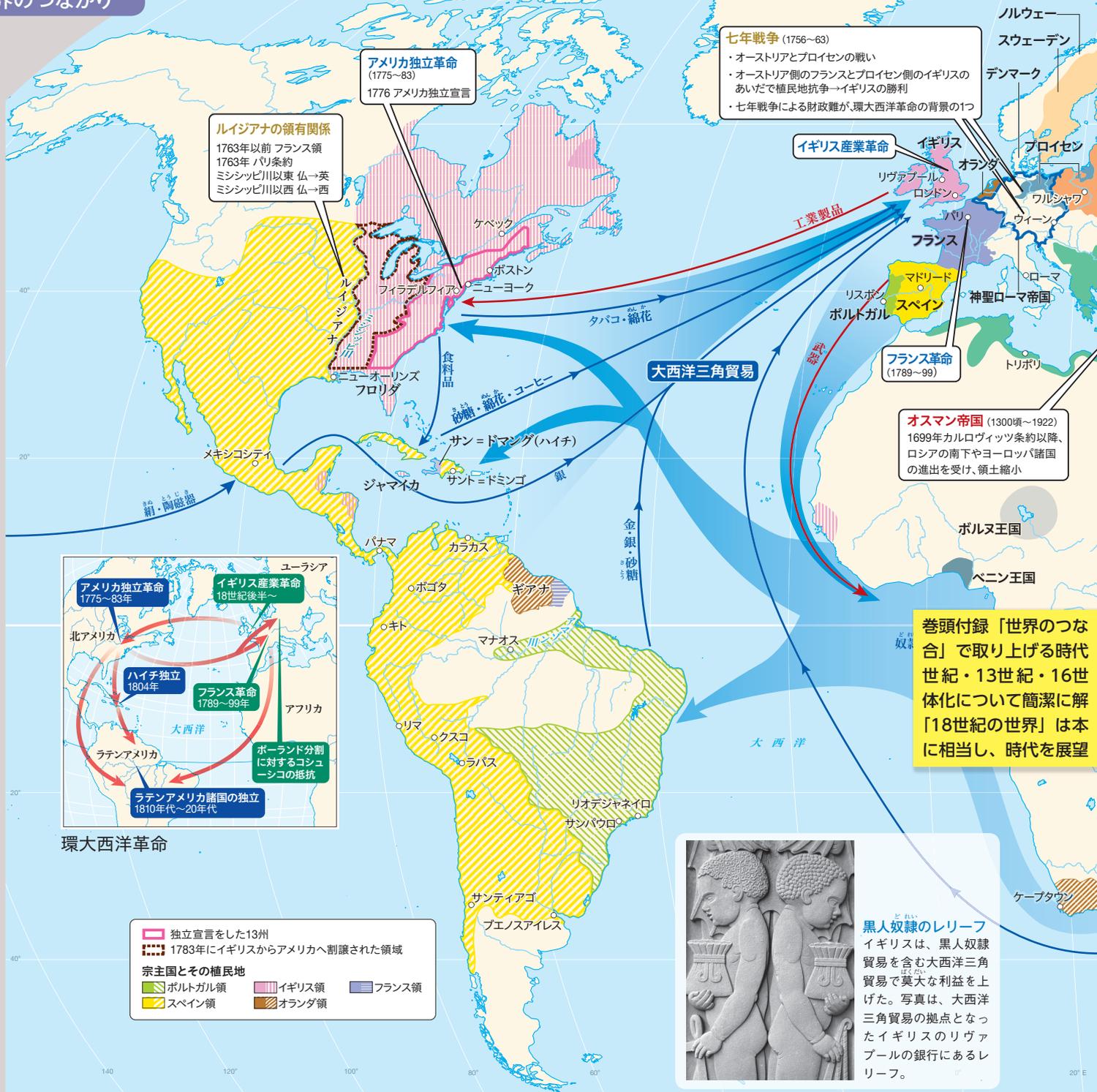
テーマへのアプローチ  
このテーマを理解するた  
めのヒントになる問い  
です。

資料と問い  
本文に関連する資料で  
す。問いを通して読み  
てみましょう。

アルファベットのマーク  
上段の資料に対応して  
います。

用語解説  
ポイントとなる用語の  
解説です。

年表・地図  
このテーマに関わるできごとや、その前後  
の流れを確認するための年表や地図です。



巻頭付録「世界のつながり」で取り上げる時代  
世紀・13世紀・16世紀  
体化について簡潔に解  
「18世紀の世界」は本  
に相当し、時代を展望



## 18世紀の世界

18世紀は「革命の世紀」といわれる。大西洋三角貿易で利益を上げていたイギリスで始まった産業革命は、社会的に大きな変革の起点となった。また、北アメリカ大陸では、植民地政策を強化したイギリスに反発して、13植民地が独立戦争をおこし、アメリカ合衆国の独立を宣言した。この動きは、フランス革命やその後のラテンア

メリカ諸国の独立にも影響を与えた(環大西洋革命)。一方、プロイセンやオーストリア、ロシアでは、自国の強国化をめざす啓蒙専制君主が現れた。

アジア地域では、オスマン帝国が内外の危機に直面し、イランではサファヴィー朝が滅亡した。ムガル帝国はヒンドゥー教徒らの抵抗を受けて分裂傾向が強まり、18世紀後半以降、イン



「つながり」では、「歴史総  
より前の「2世紀・8  
紀」の世界の交流と一  
説しています。  
書の1章・2章の内容  
できます。

ドはイギリス東インド会社により植民地化された。17世紀に成立した清は全盛期を迎え、満洲人・漢人・モンゴル人・チベット人など多民族を統治した。乾隆帝の時代には、ムスリムの多い新疆も新たな支配領域となったが、乾隆帝の退位後には国内反乱があいついだ。徳川幕府は清と国交を結ぶことはなかったが、薩摩藩の支配を受けた琉球王国を通して清の文物や情報を

得た。また、鎖国政策後も長崎でオランダや中国人商人と、対馬藩を介して朝鮮との交流を保っていた。沿海航路や大坂市場の整備により全国的な流通網が形成されて商品生産が拡大する一方、貨幣経済の浸透にともなう財政難から、幕府や諸藩は政治改革を進めた。また、18世紀末のロシア使節の來航を機に、従来の外交政策の見直しを求められるようになった。

# 近代化と私たち

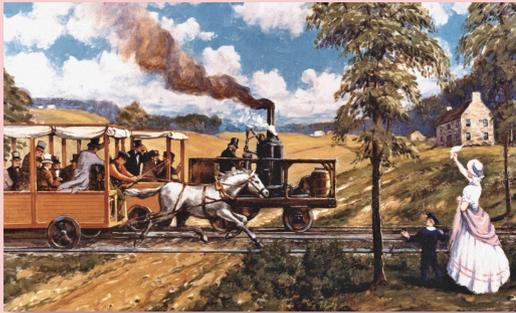
第 I 部



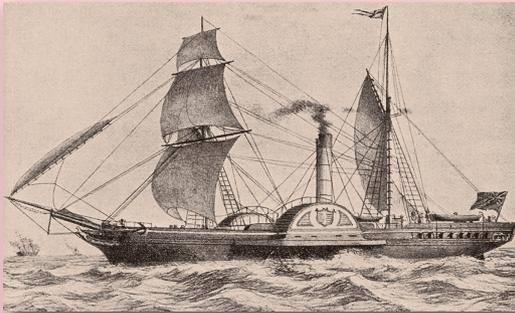
近代化とは何だろうか。1～6の事例から選んで考えてみよう。

## 1 交通と貿易

19世紀に鉄道や蒸気船などの交通機関が急速に普及し、それにもなつて貿易も急速に拡大した。これによって世界の結びつきはどのように変化したのだろうか？



① 馬車と蒸気機関車の競争(アメリカ、1830年)



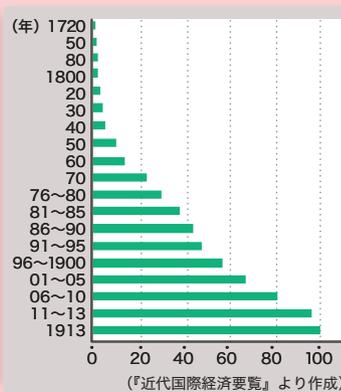
② 蒸気力のみではじめて大西洋を横断(1838年)したシリウス号



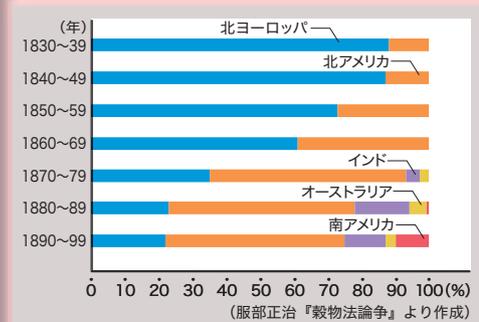
③ 19世紀を通じて活躍した快速帆船

年	1840	1860	1880	1900	1910	1930	1930	1940
馬車	5	5	5	5	5	5	5	5
客船(河川)	5	6	8	10	10	11	11	11
海洋船	10	15	20	25	30	30	30	35
鉄道	31	40	50	60	60	65	70	100
自動車	-	-	-	30	45	55	60	75
飛行機	-	-	-	-	50	110	185	300

(宮崎岸一ほか編『近代国際経済要覧』より作成)



(『近代国際経済要覧』より作成)



(服部正治『穀物法論争』より作成)

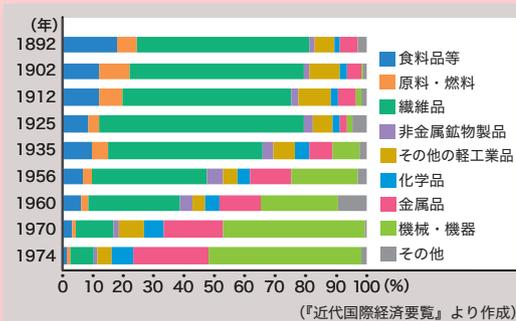
④ おもな交通手段とその速度(単位:マイル/時)

⑤ 世界貿易数量の指数(1913年=100)

⑥ イギリスの小麦輸入元の割合

① ①～⑤ から何がわかるだろうか。

② ⑤ ⑥ から何がわかるだろうか。



(『近代国際経済要覧』より作成)

⑦ 日本の貿易商品の構成(輸出)

③ ⑦ から、日本の輸出品について何がわかるだろうか。

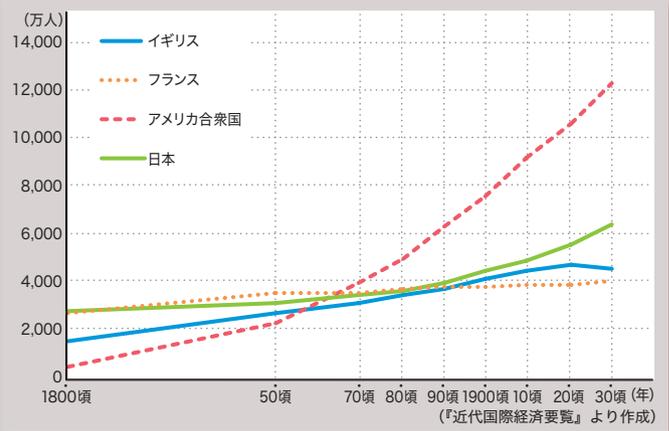
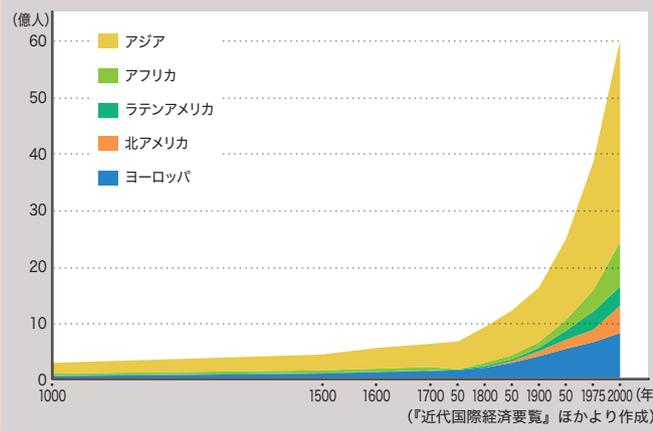
「交通と貿易」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。

生徒自身に取り組んでほしい課題のページにはキャラクターを付し、ナビゲートしています。



## 2 産業と人口

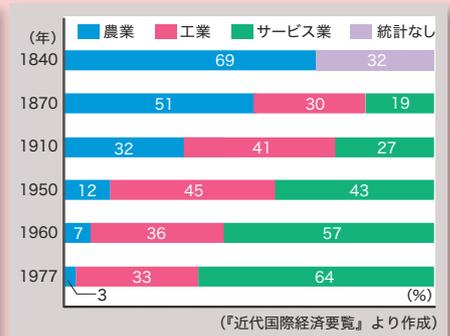
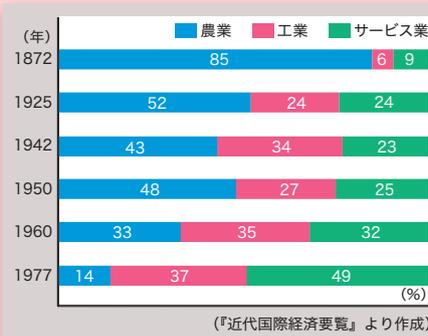
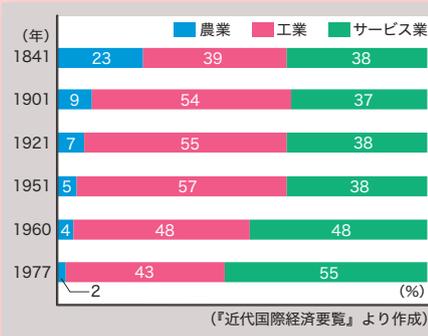
18世紀後半のヨーロッパで機械化が始まると、諸産業には大きな変化が生じ、その動きはアメリカ合衆国やアジアなどへも波及した。このことは、世界および各地の人口動態にどのような影響をおよぼしたのだろうか？



### 1 大陸別人口の推移

### 2 国別人口の推移

- ① 1 2 について、それぞれ人口が多いのはどこだろうか。時期による違いにも注目してみよう。  
② 2 から、江戸時代の日本の人口における特色として何があげられるだろうか。



### 3 イギリスの労働力の割合

### 4 日本の労働力の割合

### 5 アメリカの労働力の割合

- ② 3 ~ 5 の3つの産業間の労働力の割合において、3つの国に共通していることは何だろうか。

	知的職業階級 ジェントリ (地主)	商人・農民 小売商	機械工・ 労働者
ラトランド州 (イングランド中部の農村地帯)	52歳	41歳	38歳
マンチェスター (イングランド北部の工業地帯)	38	20	17
ベスナル=グリーン (ロンドン塔の東側労働者街)	45	26	16

(角山栄ほか『生活の世界歴史10 産業と民衆』より作成)

### 6 イギリスの平均寿命(19世紀中頃)

- ③ 6 7 から何が読みとれるだろうか。



7 ロンドンのスラム街(1872年)

第I部は、学習指導要領「近代化への問い」で取り上げられている「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」の6項目について資料を豊富に掲載しています。授業では項目1つを選択し、資料を読みとく技術を培いながらこれから学ぶ「近代化」について、疑問や課題意識を持つようにします。

「産業と人口」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。



# 第1章 結びつく世界と日本の開国



この章では、18世紀の東アジアの社会と経済、アジアの地域間での貿易と欧米諸国との新しい貿易、産業革命、中国の開港と日本の開国などを扱います。日本を含めていろいろな国や地域の動向を比較したり相互に関連づけたりして、工業化や交通・通信手段がどのように進展し、世界市場が形成されていったのかを学びます。その結果、アジア諸国の社会と経済の仕組みや欧米諸国との関係が変容していくことについて理解を深めましょう。

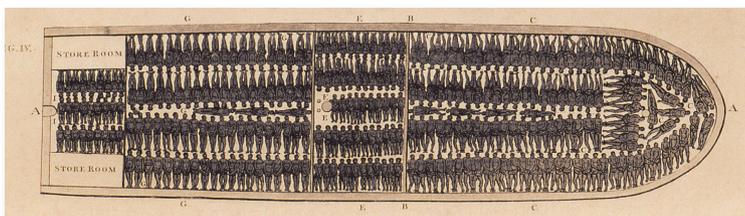
1600	1600	02	03	16	35	39	69	70年代	89	1700	16	57	60年代	60~70年代	67	76	87	89	92	93
	イギリス東インド会社設立	オランダ東インド会社設立	徳川家康、征夷大將軍となる	アイシンのちの清建國	日本人の出入国禁止	ポルトガル船の来航禁止	シャクシャインの戦い	西廻り海運の整備	イギリス、権利の章典		享保の改革(45)	清、欧米船との貿易を 広州に限定	イギリス東インド会社、	イギリス、産業革命が始まる	田沼時代(86)	アメリカ独立宣言	寛政の改革(93)	フランス革命が始まる	ロシア使節来航	清の乾隆帝に謁見 イギリス使節が

赤=日本と関わりが深いできごと 黒=世界



大坂の賑わい

手前に樽廻船の蔵、向こう岸に菱垣廻船の蔵が建ち並ぶ。奥にみえる大型船が菱垣廻船である。(大阪城天守閣蔵)



奴隷船を描いた絵(1780年代)

労働力として売られた奴隷は、劣悪な環境のなかで運ばれた。

このページでは章の概観を示しています。年表や図版で時代の大まかなイメージをつかみます。



清とイギリスの貿易交渉を描いた風刺画(1793年)

清の乾隆帝に拝謁する、イギリス使節が描かれている。

学習を深める動画やウェブサイトも紹介しています。

詳しくみてみよう！

アジア歴史資料センター

トップページの「さまざまなコンテンツ」から「社会科授業用資料リスト」をみてみましょう。日米和親条約の写真が閲覧できます。



▶動画にアクセスしよう！



大阪の水運と商業の発達(→p.23)



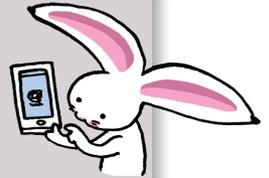
イギリスの産業革命(→p.29)



ペリー来航(→p.36)



(NHK for Schoolより)



1800	04	06	07	14	25	34	39	40	42	48	49	51	53	54	55	56	57	58	61	66	69
	ナポレオンが皇帝に即位	文化の薪水給与令	蒸気船を実用化 アメリカでフルトンが	ウィーン会議開催(〜15)	異国船(無二念)打払令 イギリスでステイヴンソンが	ドイツ関税同盟発足	オスマン帝国で改革開始(〜76)	アヘン戦争(〜42)	天保の薪水給与令	『共産党宣言』出版 マルクス・エンゲルス	ゴールドラッシュ アメリカ、カリフォルニアで	第1回万国博覧会(ロンドン) 太平天国の内乱(〜64)	クリミア戦争(〜56) ペリー来航	日米和親条約・琉球修好条約	第3回万国博覧会(パリ)	第2次アヘン戦争(〜60)	インド大反乱(〜59)	日米修好通商条約	アメリカ、南北戦争(〜65) イタリア王国成立	大西洋横断ケーブル完成	スエズ運河開通 アメリカ、大陸横断鉄道完成



黒船の図

ペリーの来航を描いた日本の錦絵。(神奈川県立歴史博物館蔵)



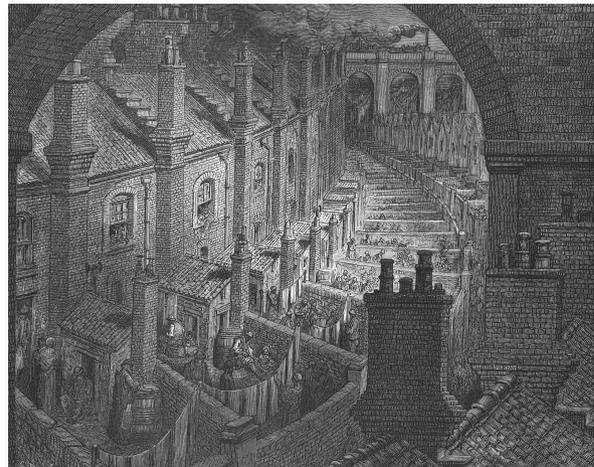
大陸横断鉄道の完成(1869年)

アメリカ合衆国の東西を結ぶ鉄道が開通したことで、西部の市場と東部の工業地帯が結びつけられた。



岩倉使節団

特命全権大使の岩倉具視は冠をとめるまげをまだ残しているが、まわりの副使は全員まげを切っている。(山口県文書館蔵)



都市環境の悪化(1872年)

ロンドンのスラム街の様子が描かれている。

# 18世紀の東アジアにおける社会と経済

1

18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか？

このテーマで考えたい事柄が問いの形で示されています。



授業の導入として、問いをもとに資料を読みときます。グループワークやペアワークで、テーマについての興味・関心を高めます。

1 「姑蘇繁華図」(部分、徐揚)

この絵は18世紀の清代の江南地方にある蘇州(姑蘇)の様子を描いたものである。大運河が通り、水上交通の要であった蘇州には無数の船が往来し、経済や文化の中心として繁栄をきわめた。18世紀中頃には人口は50万人に達した。

- ① 大運河沿いに並ぶ商店の看板の文字を読んでみよう。どのような商品が取り引きされたのだろうか。
- ② 看板に「行」という文字がみられるが、これは何を意味するのだろうか。



テーマ全体の問いを解くための3つのアプローチです。アプローチは、小見出しなど適切なまとまりごとに設定されています。

テーマへのアプローチ

- 1 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。
- 2 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。
- 3 徳川幕府の仕組みは、どのようなかたちで経済の発展に影響を与えたのだろうか。

	中国(清)	「四つの窓」 長崎・オランダ・澳、対馬朝鮮、薩摩(琉球)、松前(アイヌ)	日本
1716			享保の改革(~45)
1721			株仲間の結成(を公認)
1722			定免法の採用
1724	キリスト教全面禁止/この頃、地丁銀制実施		
1732			享保の飢饉
1757	欧米船との貿易を広州に限定		田沼時代(~86)
1767			天明の飢饉
1782			浅間山大噴火
1783			寛政の改革(~93)
1787			ロシア使節来航
1792			
1793	イギリス使節、乾隆帝に謁見		
1796	白蓮教徒の乱(~1804)		

## A 2 手工業の発達



明代の宋応星による図解入りの産業技術書『天工開物』の一部。(東洋文庫蔵)

- 1 どのような製品をつくっているところだろうか。
- 2 『天工開物』は日本に輸入されて多くの著述に引用されたり、和刻本というかたちで刊行された。江戸時代の日本経済の特徴(→p.22)から、その理由をあげてみよう。

## B 商業ルートの発達



### 3 徽州商人の交易ルート

- 1 3は遠隔地商人の交易ルートを示している。ルートが密になっているのはどの地域だろうか。
- 2 4より、「金華の同郷者たち」が蘇州に会館を建てようとした理由は何だろうか。

金華は文教の盛んな町というが、浙東の端に位置し、土地はやせて人口は多く、遠隔地商業にたずさわる者は3分の1を占める。……蘇州にいる金華出身者は同郷人の来訪をよろこび、金華から到来した者も同郷人を頼りに集まってくる。……乾隆9年[1744年]金華の同郷者たちは、[蘇州に]会館を建てようと合議し、資金を出し合い……建材をそろえ、職人を集め、壬申の年[1752年]に完成した。

### 4 金華会館碑記(大意、1752年)

1テーマ4ページから6ページで構成し、1テーマ1単元(または2単元)で完結するよう、本文の分量にも留意しました。

## 18世紀の中国経済

中国では、長江下流域から台頭した漢人の王朝である明が、皇帝の専制支配のもとで全国を統治した。その後、17世紀に満洲人のたてた清が台頭し、明の諸制度を踏襲しつつ、広大で多様な中国全土を統合して18世紀に全盛期を迎えた。

明代以降、中国の農業は飛躍的に発展していた。なかでも長江下流域の江南地方では桑や綿花など商品作物の栽培が進み、生糸や絹織物、綿織物の手工業が発達した。明代には杭州から天津に向かう大運河が整備され、また国内水上交通の要所であった江南地方の蘇州や長江中流域の漢口などが商工業都市として繁栄した。明から清に至る経済的發展にともない、全国的な遠隔地商業と金融のネットワークが形成され、それらの業務を担う山西商人や徽州(新安)商人が台頭した。

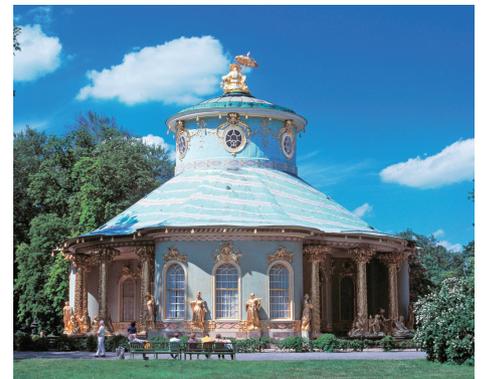
さらに福建省のサトウキビ栽培による製糖業、景德鎮の陶磁器生産といった地域の特産物もさかんに生産された。また、17世紀頃からアメリカ大陸原産のトウモロコシやサツマイモといった新作物の栽培が始まり、山地の開墾が進んだ。一方で、16世紀以降には、海外貿易により日本やアメリカ大陸から銀が大量に流入した結果、商工業が活性化されたほか、貨幣経済が農村にも浸透して税の銀納化が進んだ。このような経済發展が18世紀の人口増加を支えた。もっとも、日本と比べて広大な国土を抱え、多様な

### ▶ 大運河

6世紀末から7世紀初めの隋の時代に原形がつくられ、中国の南北の流通網として重要な役割を担った。

### ▶ サツマイモの伝来

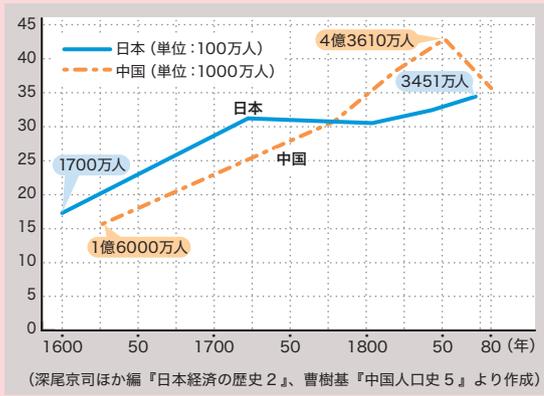
日本ではサツマイモ、薩摩ではリュウキュウイモ、琉球ではカライモ(唐芋)と呼び、名前の変遷がそのまま日本への伝播したルートを示している。



### 5 シノワズリ

18~19世紀のヨーロッパでは、建築・家具・食器などの分野でシノワズリと呼ばれる中国風の美術工芸品が流行した。中国へのあこがれと異国趣味のあらわれであった。写真はドイツのポツダムにあるサンズーシ宮殿の中国風茶屋。

## C 18世紀の人口増加



### 6 中国・日本の推定人口の推移

- 1 中国と日本の人口推移の特徴は何だろうか。
- 2 それぞれの特徴が生まれた理由は何だろうか。

祖先の代には、土地や家屋に余裕があり利用し残している部分もあったかもしれないが、土地や家屋の増え方は2倍、よくて3倍、5倍である。しかし人口は、同じ時間に10倍、20倍と増えてしまう。したがって、土地や家屋はつねに足りなくなり、人の数は余ってしまうのだ。

(岸本美緒・宮嶋博史『明清と李朝の時代』)

### 7 洪亮吉『意言』(1793年)

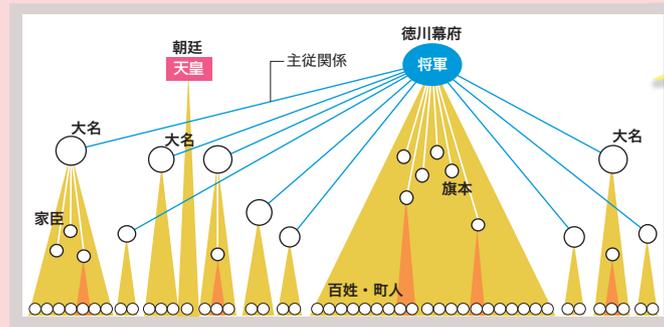
- 3 7から読みとれる、18世紀の中国が抱えた問題は何だろうか。



### 9 衣食にみる身分の差(「勞農夜話」部分)

左から順に、貴人(公家)・侍(武士)・農夫・商人・僧・職人とおのおのの食膳が描かれている。身分によって服装や髪型、食膳の大きさなどが異なっている。(東京大学史料編纂所蔵)

## D 8 江戸時代の日本の国制



図の白い丸は人々、三角形は個々の大名の領国(藩)、直線は主従関係を示す。徳川将軍はもっとも大きな大名でもあった。将軍や大名の家臣のなかには領地を分け与えられ、直接におさめられるものもあった(濃い三角)。

- 1 現在の日本との違いは何だろうか。
- 2 この構造が変化した転換点はいつだろうか。

グラフや地図はカニバーサルデザイン、読みやすい配種で作製しています

気候風土や歴史的多様性をもつ中国では、地域ごとの経済ネットワークが存在しており、全国的な統一市場が形成された日本とは状況が異なる点もあった。そして、山地の開墾によって環境破壊が引き起こされる一方で、人口の増加にみあった**耕地面積**の拡大はなされず、生活水準が低下する農民もあらわれた。

### 18世紀の日本社会

江戸時代の日本では、古代からの王権である天皇(朝廷)が祭祀などをおこなう一方、政治の実権は17世紀初めに全国を統一した徳川将軍(幕府)にあった。全国は幕府の**直轄領**と、二百数十におよぶ大名が内政をおこなう**藩**にわかれ、将軍は大名を臣従させて彼らへの軍事指揮権を握り、天皇の権威をよりどころとして全国を支配した。

人々は身分集団に属し、身分は基本的に世襲された。支配身分である武士は将軍、大名とその家臣からなり、家臣は城下町に集住して行政を担った。人口の大部分は被支配身分であり、村で農業などをおこなう百姓、町で商業や手工業をおこなう町人、そして被差別身分を含む多様な小規模の身分集団があった。それぞれの身分に応じた役割を担うことが美徳とされ、とくに生産者である百姓は**年貢**を負担する役割を負った。幕府と藩はそれぞれの支配地において、**検地帳**に記載された百姓の土地の耕作権と所持権を保障して村ごとに年貢や諸役を課し、年貢米から武士の俸禄を支給した。

### 18世紀の日本経済とその変容

江戸時代における幕府収入の中心は、書類上の年間収穫高である石高で、直轄領400万石から納められる年貢であった。18世紀になると年貢収入が停滞したうえに米価が下落したため、幕府の財政が逼迫しはじめた。

## 目 全国市場の確立



10 大坂の蔵屋敷(『撰津名所図会』部分)(国立国会図書館蔵)



11 海運の発達

歴史への興味・関心は人物を通して高まることから、各テーマ1~2名を取り上げ、紹介しています。

1716(享保元)年、8代將軍徳川吉宗は、年貢増収による幕府財政の立て直しをめざして、様々な経済政策を実施した(享保の改革)。その結果、幕府の年貢収納率は上昇し、18世紀半ばには頂点に達した。

17世紀末には全国各地で商品生産が活性化し、西廻り海運などが整備されて、大坂・江戸・京都の三都を中心に年貢米や特産物が流通する全国市場が確立した。とくに大坂は「天下の台所」といわれ、年貢余剰米や専売品とされた特産物などが運ばれた。蔵屋敷に保管された商品は、大坂の市場で高値となった際に売却された。このほか生産者から在郷商人を通して運ばれる商品(納屋物)も地域市場や大坂市場に運ばれた。この結果、大坂は全国の物資集散地として栄えた。さらに、17世紀以降に発達した江戸・大坂間の海運(菱垣廻船・樽廻船)に加え、18世紀末頃には蝦夷地や東北地方と西日本を西廻りで結ぶ北前船のような遠隔地海運が発達し、昆布など蝦夷地海産物の西日本での流通や長崎での輸出(俵物)がさかんになった。

一方、商品作物生産の奨励によって、貨幣経済が都市だけでなく農村にも浸透し、土地を集積する有力百姓と農業経営に失敗して田畑を失った小百姓への分化が生じた。さらに18世紀後半には凶作や飢饉がしばしばおこり、人口が停滞するとともに、困窮した百姓や貧民による一揆や打ちこわしが各地で発生した。しかし、19世紀に入ると、織物業や製糸業といった農村工業が発達し、地域間の分業と交易にもとづく経済成長が本格化して、再び人口増加が始まった。

### 12 徳川吉宗(1684~1751)

紀州徳川家から8代將軍となり、享保の改革に取り組んだ。幕府財政の立て直しにつとめる一方で、積極的な人材登用や法制度の整備をおこなった。また、流通統制政策を開始した。(徳川記念財団蔵)



#### ▶▶ 享保の改革

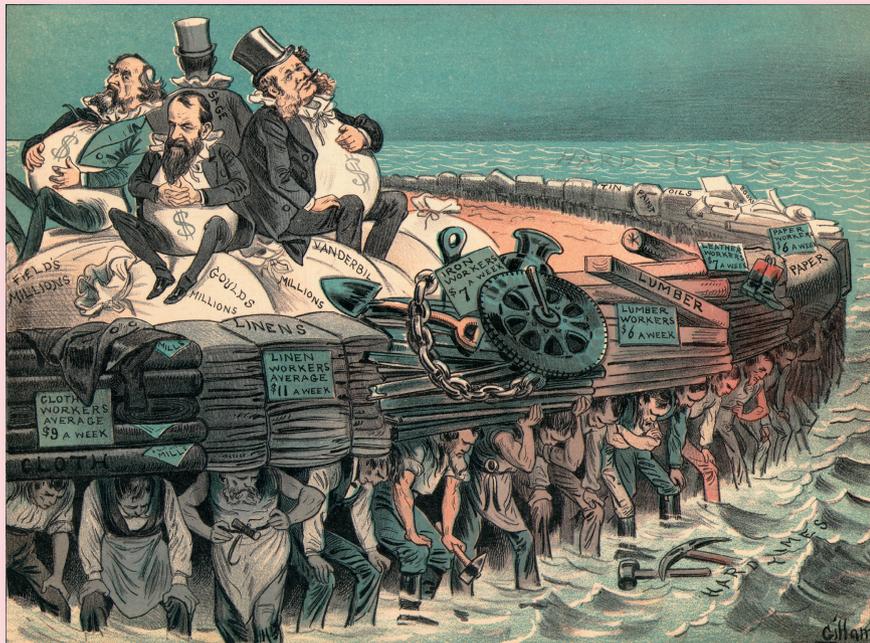
年貢率の決め方を毎年作柄を調べる検見法から、過去の平均を基準とする定免法に改め、新田開発による米の増産をめざした。また、綿作などの商品作物の生産を奨励し畑地からの年貢増収もおこなった。そして商業統制のために商人や職人の仲間を株仲間として公認し、かわりに営業税(運上・莫加)を徴収した。

#### ▶▶ 俵物

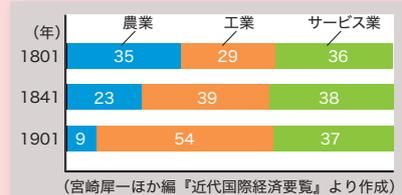
俵につめられた、いりこ・ふかひれ・干し鮑といった海産物。

# 産業革命

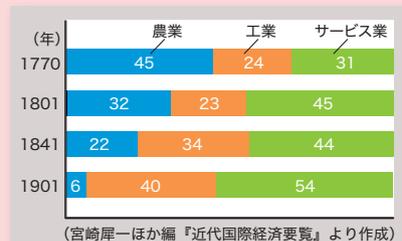
18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのだろうか？



① アメリカの雑誌に掲載された風刺画（『Puck Magazine』1883年）



② イギリスの労働力の割合（単位：％）



③ イギリスの国民総生産に占める産業ごとの割合（単位：％）

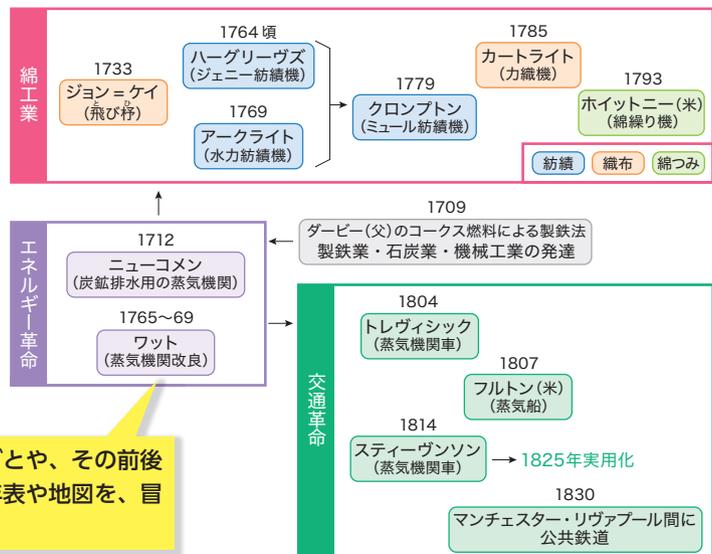
- ① 上の人々と下の人々の、対照的な点は何だろうか。  
 ② このような境遇の違いが生じたのはなぜだろうか。

①②③のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。

## テーマへのアプローチ

- 産業革命は、なぜイギリスで始まったのだろうか。
- 産業革命は世界の結びつきをどのように強めたのだろうか。
- 産業革命によって人々は豊かになったのだろうか。それとも貧しくなったのだろうか。

このテーマに関わるできごとや、その前後の流れを確認するための年表や地図を、冒頭においています。



④ 技術革新と交通手段の改良

## A キャラコ熱



### 5 大西洋三角貿易

第3条 1722年12月25日以降、いかなるものであっても、グレートブリテン〔イギリス〕の内部で、色付きのキャラコを着用したり、ベッド・椅子・クッション・カーテンそのほかの家具や家財道具として利用したりした場合は、グレートブリテン通貨で20ポンドの罰金を支払うものとする。

### 6 キャラコ禁止法

これは1721年のイギリスの法律からの抜粋である。軽くて通気性がよいインド産の綿織物(キャラコ)は、17世紀にイギリスで一大ブームを巻き起こした。

- 1 5のような貿易が続くと、それぞれの地域にどのような変化がもたらされるだろうか。
- 2 この通称「キャラコ熱」をよく思わなかったのはどのような人々だろうか。
- 3 6の条文で詳細まで定めたのはなぜだろうか。

## 技術革新

18世紀半ばから19世紀初めにかけてイギリスでは、綿工業(紡績業・織布業)をはじめとして、新しい技術がつぎつぎと開発され、これらが実用化されていった。この事象は、のちに**産業革命**と呼ばれることになる。

- 5 産業革命がイギリスで始まったのは、17世紀末の「権利の章典」によって私的所有権が事実上保証されたため、人々のあいだに生産意欲や技術革新への気運が高まったことと、大航海時代を経てアフリカとラテンアメリカをヨーロッパと結ぶ貿易(大西洋三角貿易)が確立され、富の蓄積が進んでいたからである。また、綿工業で産業革命が始まったのは、当時インド産の手織り綿織物(キャラコ)がブームを巻き起こしており、それに匹敵する品質の綿織物を国内で生産して輸入代替工業化に成功すれば、大きな商機になったからである。

- 15 産業革命を推進したのは、化石燃料(当時は石炭)を動力源とする蒸気機関を用いた大規模な生産装置(機械)の発明である。綿工業では、まず紡績機械がつぎつぎに発明され、綿糸が大量かつ安価に供給できるようになったため、今度は織布過程の機械化が実現された。このように技術革新が連鎖的に生じたため、産業革命は急速に進展することになった。

- 20 機械制生産は手工業生産に比べると圧倒的に生産性が高く、製品を安価に生産できたため、多くの産業部門で手工業生産を圧迫した。手工業を担う職人たちは、機械や工場を破壊して抵抗する場合もあったが、機械化の動きをとめるには至らなかった。

## 社会の変化

産業革命によって広がった機械制生産は、社会を大きく変えた。それまでの手工業生産は、小規模な作業場で、人力を動力源とする道具を用いて、生産に関する知識(熟練)を体得し

資料と問いを豊富に掲載しています。授業の進度に合わせて適宜選択して取り組んでいただけます。

### ▶ 権利の章典

イギリスでは、17世紀にピューリタン革命(1642~49年)と名誉革命(1688~89年)という2つの革命が生じ、立憲君主政が確立した。

### ▶ 輸入代替工業化

輸入されている工業製品を国内で加工・製造することで工業化を進める経済政策路線。価格競争力をもつ製品の製造と輸出を優先する輸出指向型工業化と対置される。



### 7 茶を飲むマンチェスター近郊の工女たち

産業革命期のイギリスでは、カリブ海の西インド諸島などから輸入した砂糖を入れた茶を、労働者が手軽なカロリー源として飲むようになった。

## B 働く人々の境遇

第2条 [工場などに雇用されるためには、児童は8歳以上でなければならない。8歳から12歳までの児童の労働時間は1日8時間とし、一度の休憩はさむものとする。12歳から16歳までの児童の労働時間は1日12時間とし、一度の休憩はさむものとする。]

労働できる時間帯は朝5時から夜9時までとする。

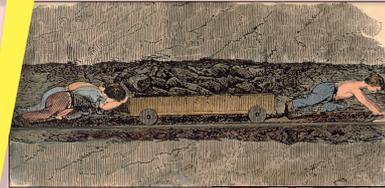
第3条 夜9時から朝5時までの労働は、すべて夜間労働とみなされる。13歳以下の児童については、いかなる夜間労働も禁止する。水力不足で水力モーターが機能せず、あるいは緊急事態が発生した場合は、13歳以上の児童は、5割の割増賃金を支払うことにより、夜間労働に従事させることができる。

第4条 13歳以下の児童は、日曜日と法廷祝日に労働させることはできない。

### 8 児童労働法(フランス、1841年)

- 1 なぜ多くの子どもが労働者として働くことになったのだろうか。
- 2 このような法令が出された背景には、どのような労働環境があったのだろうか。
- 3 児童労働は家族のあり方にどのように影響したのだろうか。
- 4 みなさんがこの当時の環境で生きていたら、どのような生活が待っていたのだろうか。

問いは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価に基づいて立てています。



9 イギリスの炭鉱で働く子ども



10 「イギリスの白人奴隷たち」と題された絵(工場で働く子ども)

a [リヴァプールでは]地上から100mほど上空まで石炭の煙がもうもろと覆い、空は晴れているのにいつも薄暗い。……だからここの人たちの平均寿命は上層階級の人でも35、中層階級は23、下層の労働者たちはたった15歳だという。

b この市[マンチェスター]には工場が多く、とくに綿紡織はヨーロッパでほかに肩を並べられるところはない。蒸気機関を使用しているので、全市の石炭の煙が空を覆い、大気は暗く濁っている。

(久米邦武編『米欧回覧実記』)

### 11 岩倉使節団がみた19世紀のイギリス

イギリス社会のこのような面を知りながらも、諸国では工業化が進められていった。

### 12 エンゲルス(1820~95)

1820年、プロイセンで生まれる。父の機械工場で経営事務を担当するために渡英。帰国後『イギリスにおける労働者階級の状態』(1845年)を著し、労働者の悲惨な生活環境を指摘し、経営者の態度を批判した。のちに、盟友マルクスと社会主義運動に没頭する。



### ▶ エネルギー革命

石炭は当時としては無尽蔵であり、エネルギー効率がよく、木材などと比べると輸送が便利で工場立地に影響を与えないという長所をもっていた。

た職人によって担われていた。これに対して機械制生産では、動力源が人力でないため、大量生産が可能であった。また、機械が生産の中核を担うため、働く人々に特段の熟練は必要なかった。こうして機械制生産が広がるにつれ、資金を出す人々(資本家)が多数の機械を備えた大規模な作業場である工場を建設し、熟練した技術を備えていない人々(不熟練賃金労働者)を賃金を払って雇用し、労働にあたらせる生産システムが確立していた。これを**資本主義**と呼ぶ。

資本主義では、資本家と労働者の力関係は圧倒的に前者に有利であり、労働者の賃金水準や労働環境などの労働条件は劣悪なものとなった。ここから、機械や工場などの生産の手段を人々で共有することにより、働く人々の境遇改善をめざす**社会主義**が、資本主義を批判する思想としてマルクスやエンゲルスによってとなえられた。さらに、不熟練賃金労働者として雇用されるようになった子どもの悲惨な待遇は、社会的な関心を呼びおこし、児童労働規制の是非が論じられた。

また、動力源が石炭になった(エネルギー革命)ため、立地の条件が大きく変わり、広大な敷地を必要とする工場は、農村部に建設されていった。そして工場の周辺部には労働者の住居が建設され、都市化が進んだ。こうして生まれた工業都市では、しばしば水・大気・衛生など生活環境が劣悪であり、労働者は生活条件についても問題を抱えることになった。

### 他国への産業革命の普及

イギリスで始まった産業革命は、世界各地に多様な影響を与えた。安価な製品の生産は輸出を増大させ、さらには経済的・政治的な国際競争力の強化

C 13 「ドイツがとるべき工業化の道」(1841年)

強大な富と力を獲得するために必要な資源を与えられた国民が、進歩の過程において、いかに経済体制を変化させるべきかについては、歴史が教えてくれる。第1段階では、野蛮な状態を脱し、農業を発展させるために、先進国と自由貿易をおこなう。第2段階では保護貿易により、製造業・漁業・海運業の成長を促進する。第3段階、すなわち富と力が最高水準に達したのちは、自由貿易および市場競争の原則にもとづき、農工商業従事者の勤労意欲と国民の経済的優越を維持する。  
(リスト『経済学の国民的体系』)

- この時期に国をあげて工業化を進めたのは、どのような動機にもとづいていたのだろうか。
- リストは13で、どのような段階で経済体制を変化させるべきと述べているだろうか。

D 14 アメリカの大規模な石油プラント(1905年)



- アメリカの第2次産業革命の中心産業は何だろうか。

資料と問いを豊富に掲載しています。

をもたらすため、各国は、一刻も早く、必要であれば政府が介入してでも、産業革命を実現しようと試みた(上からの産業革命)。こうして産業革命に成功した国は後発資本主義国と呼ばれるが、その例としてはベルギー・フランス・アメリカ合衆国・ドイツ・日本・ロシアなどがあげられる。

- このうちドイツでは、イギリスに対抗するため、政治的統一に先がけてドイツ関税同盟が発足(1834年)して自国製品の国内市場確保を試み、またプロイセンなど諸邦では科学技術の発達を担う大学の設立が促進されるなど、典型的な政府介入型の産業革命が進められた。同様の事態は、明治維新後の日本にもみられる。また、アメリカでは、北東部を中心に機械制工場(→p.46)の設立が始まり、南北戦争後の政府による保護主義政策を経て、広大な国内市場を背景に、急速な産業革命が実現された。19世紀後半になると、産業革命の中心は石炭を動力源として用いる綿工業から石油を動力源や原料として用いる重化学工業へと移行するが、この第2次産業革命と呼ばれる変化をリードしたのは、ドイツとアメリカであった。

- これに対して、産業革命に至らなかった国や地域は、イギリスをはじめとする資本主義国の製品市場および原材料供給地となった。たとえば、かつてイギリスに綿織物(キャラコ)を輸出していたインドは、イギリス綿工業が生産する機械製綿織物の輸出市場、および原料である綿花の生産地となった。また、オーストラリアからは小麦が、ニュージーランドからは羊毛が、アルゼンチンからは食肉が、それぞれイギリスに運ばれ、イギリス産の鉄製品や綿製品と取引された。

こうして、財(商品)の移動(貿易)において世界規模のネットワークが形成され、世界の経済的一体化が加速した。

15 ▶▶ ドイツ関税同盟



18世紀末、ドイツは約300の諸邦に分裂していた。プロイセンの主導下に成立したドイツ関税同盟は、域内関税を撤廃することにより、各領邦の産業に広大な市場を提供し、発展をうながすことを目的とした。

▶▶ 保護主義(保護貿易)

輸入品への関税を高率に設定して輸入を難しくし、国内産業の保護育成をはかる経済政策。対義語は自由貿易。

このテーマのポイントとなる用語に解説を付しています。

▶▶ インドの綿織物工

1830年代、イギリスの初代インド総督は、かつてキャラコの生産で繁栄した綿織物工の貧困について、「経済史上、空前のものである。インドの平原は、綿織物工の骨で真白く染められている」と記している。

# 近代化と 現代的な諸課題

第1部で学んだ事柄は、現代の諸課題を考えるうえでのヒントにもなる。①～③の観点から考えてみよう。



## ① 開発・保全

▶産業革命を経験した国やその植民地では、開発が急激におこなわれたが、それともなって環境が変化すると、保全も必要なことが徐々に認識されていった。このような環境の変化に、人々はどのように対応したのだろうか。

## 環境汚染



① テムズ川の汚染(『PUNCH』イギリス、1859年)

イギリスでは、生活排水や工場排水でテムズ川の汚染が深刻になった。汚れた川の水は井戸水にも混入し、それまでなかったロンドンでのコレラの大流行が、19世紀初頭から中頃だけで3回も生じた。その後、病理学や医学の発達にもなって公衆衛生に対する考えが変わり、19世紀後半に上下水道が整備されると、コレラの大流行はみられなくなった。



② 足尾銅山と周辺のはげ山(『風俗画報』1901年)

日本では、1880年代から銅の需要が高まり、産出量が激増した。栃木県の渡良瀬川流域では、鉱毒によって耕地が荒廃した。田中正造らが鉱山操業停止を求めたが、近隣住民のあいだでは雇用喪失を心配した操業停止反対運動もおこった。生糸と並ぶ外貨獲得手段であった銅の一大産出地ということもあり、政府は操業を停止させず、鉱毒問題を治水問題に置き換え、1907年に谷中村を廃村として遊水池にして問題の收拾をはかった。(国立国会図書館蔵)

① ②の問題について、なぜ対策が遅れたり、徹底した対策がとれなかったりしたのだろうか。現代の私たちとは異なる、当時の人々の状況や考え方などに着目して考えてみよう。

② その後、これらと似た構造の問題は発生していないだろうか。

第I部のまとめのページです。学習指導要領点から、「開発・保全」「対立・強調」「自由・取り上げました。過去の人々が課題に対してな取り組みをおこなったかを資料を読みときり返り、現代の諸課題について自ら課題を設けます。

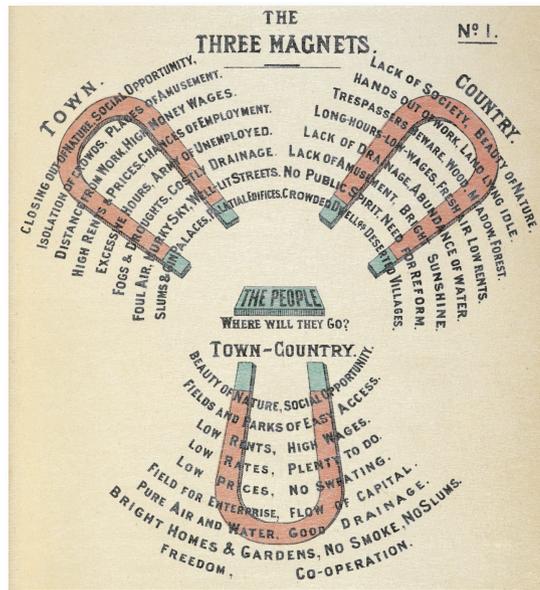
# 環境保全への試み

▶環境の悪化に際し、新しい社会のあり方を模索する試みも生まれた。

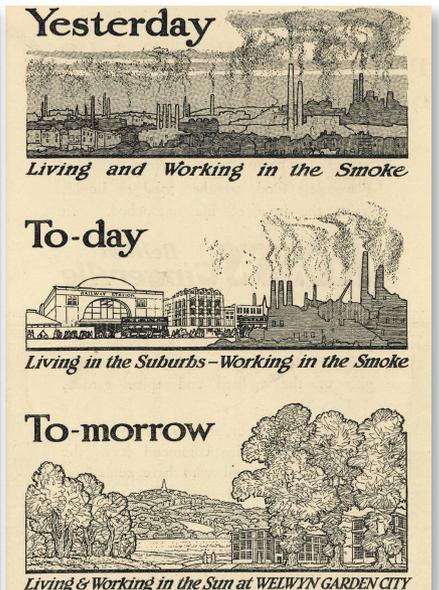


③ エベネーザー・ハワード

ロンドンの環境悪化を受けて、19世紀末にGarden City構想を発表し、20世紀初頭にロンドン郊外のレッチワースでその構想を実現した。



④ ハワードの著作中の概念図



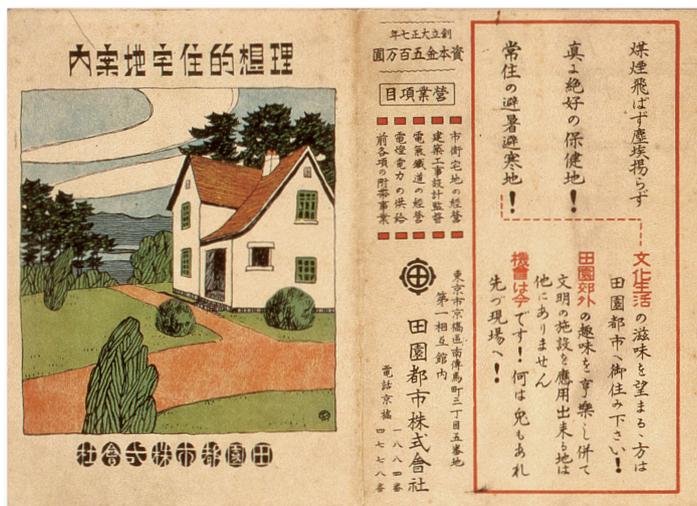
⑤ Garden Cityのポスター

③ ④ について、“TOWN” “COUNTRY” “TOWN-COUNTRY\*” の3つは、それぞれどのような特徴をもつ居住空間だとされているだろうか。

\*TOWN-COUNTRYはのちのGarden City。

④ あなたなら3つのうち、住むのにどこを選ぶだろうか。それを選んだ理由も含めて、まわりの人と意見交換をしてみよう。

▶Garden City構想の影響を受け、日本では20世紀初頭より田園都市の建設が首都圏や関西圏の郊外で試みられた。



⑥ 田園都市市内 (東京都江戸東京博物館蔵)

⑤ 現在に至るまで、大都市に住む人々の割合は圧倒的に多い。なぜGarden Cityや田園都市は、居住空間として一般的にならなかったのだろうか。



現代社会にも、「開発・保全」に関係した問題は数多く存在している。その具体的な事例をあげて、開発と保全のバランスに着目して考えてみよう。

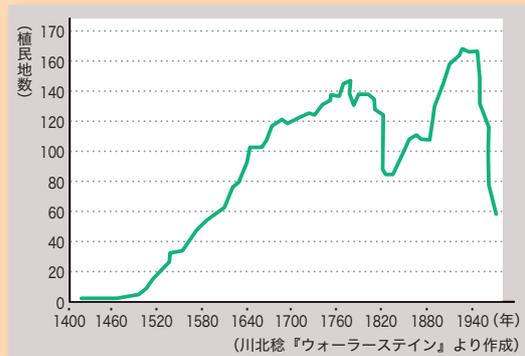
にある観制限をどのようなしながら振定して考

### 3 植民地の独立

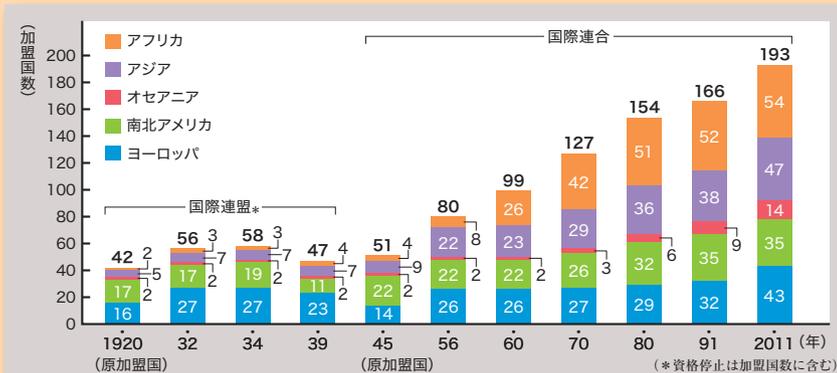
第一次世界大戦・第二次世界大戦後には、植民地から多くの独立国が誕生した。このような状況が生じた背景には何があるのだろうか？



1 ヨーロッパ諸国に公式に支配された領域(1500~1950年まで)



2 植民地数の推移



3 国際連盟と国際連合の加盟国数の推移

第2部は、学習指導要領「国際秩序の変化と私たち」で取り上げられている5項目に料を豊富に掲載しています。

- ① 1 から何がわかるだろうか。
- ② 2 のグラフから、20世紀はどのような世紀だったといえるだろうか。
- ③ 3 から、どの地域に独立国が増えたのか、年代別にあげてみよう。一方、唯一減少している時の理由として何があるだろうか。

第22条 先の戦争の結果これまで支配国の統治を離れた植民地や領土で、近代世界の苛烈な条件のもとでまだ自立しえない人々が居住しているところに対しては、そのような人々の福祉と発達をはかることが文明の神聖なる使命であり、その使命遂行の保証を本規約中に包含するとの原則が適用されなければならない。

この原則を実現する最善の方法は、そのような人々に対する後見の任務を、資源や経験あるいは地理的位置によってその責任を引き受けるのに最も適し、かつそれを進んで受諾する先進国に委任し、連盟にかわる受任国としてその国の後見の任務を遂行させることである。

(歴史学研究会編『世界史史料10』)

近年、多数の従属地域が自由と独立を達成したことを歓迎し、いまだ独立を達成していない従属地域において自由に向けた動きがますます強まっていることを認め、すべての人民は完全な自由、主権の行使およびその国土の保全に関する不可譲の権利を有することを確信して、あらゆる形態の植民地主義をすみやかにかつ無条件に終わらせる必要があることを厳粛に宣言する。……

- 1 外国による人民の征服、支配および搾取は、基本的人権を否認するものであり、国際連合憲章に違反し、世界の平和と協力の促進に対する障害となる。
- 2 すべての人民は、自決の権利をもち、この権利によってその政治的地位を自由に決定し、かつ、その経済的、社会的および文化的発展を自由に追求する。
- 3 政治的、経済的、社会的または教育的な準備が不十分なことをもって、独立を遅延する口実としてはならない。

(歴史学研究会編『世界史史料11』)

5 国際連合による「植民地と人民に独立を付与する宣言」(1960年)

4 国際連盟規約(1919年)

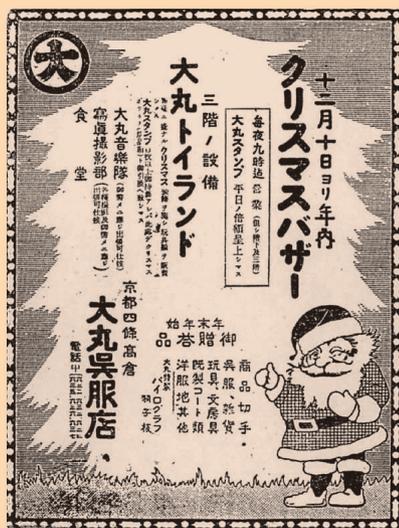
④ 4 5 について、国際連盟と国際連合では、植民地や独立国に対してどのような認識の違いがあったのだろうか。



「植民地の独立」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。

# 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化

近代に登場した「大衆」とは、どのような人々で、政治や経済・社会の展開と、それぞれどのような関係にあったのだろうか？



1 大丸呉服店の広告(1912年)



2 明治屋の広告(1914年)



3 民衆の示威運動の様子(第1次護憲運動)(1913年2月)

本年[大正3(1914)年]2月、例のとおり日比谷において民衆の示威運動があった。問題としては、減税問題などもあったけれども、主なるものは海軍取崩問題であった。同じようなことは昨年(1913年)の2月にもあった。昨年の2月の方は今年よりは運動も激烈で、その結果とうとう桂を内閣から追い出してしまった。……民衆が政治上において1つの勢力として動くという傾向の流行するに至った初めはやはり[明治]38(1905)年9月からとみなければならぬと思う。

4 吉野作造「民衆的示威運動を論ず」

「大衆」には様々な意味があるが、資料中の「民衆」の行動には「大衆」と重なりあうところがある。

3 4 の人々が下線部のような行動をとるようになったことは、政治にとってどのような意味があったのだろうか。



5 ドイツ国民車の宣伝ポスター(左・右)

この車はフォルクスワーゲンという。フォルクスは「国民」、ワーゲンは「車」の意味である。ポスターのKdF(歓喜力行団)は「喜びを通じて力を」を意味するドイツ語の略である。KdFはナチ党のもとで労働者に旅行などの娯楽を提供する組織であった。ナチ党はヒトラーの国民車構想にもとづき、週5マルクを積み立てた労働者に自動車購入クーポンを与える政策をおこなった。

4 大衆社会において、ナチ党が 5 のようなポスターをつくったり、6 の集会で自動車を展示したりしたのはなぜだろうか。



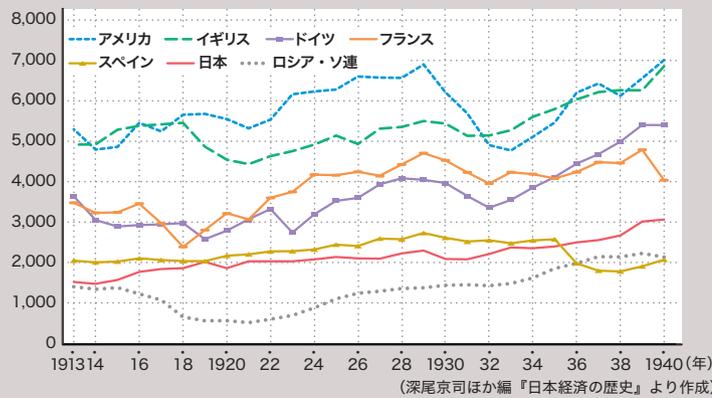
6 フォルクスワーゲンの工場建設着工式典(1938年)

「大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。



# 世界経済の変容と日本

第一次世界大戦は、世界経済の構造をどのように変え、日本経済にどのような影響を与えたのだろうか？



## 1 人口1人あたりGDPの国際比較

第一次世界大戦を契機に、経済の中心は戦勝国のなかでも復興を必要としたヨーロッパ諸国からアメリカに移った。日本は大戦景気で欧米諸国との経済格差をいったん縮小させたが、戦後恐慌を境に1920年代には再び拡大した。

### ▶ GNPとGDP

GNP(Gross National Product、国民総生産)とGDP(Gross Domestic Product、国内総生産)は、いずれもある国で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額であり、国の実体経済を表す指標とされる。GDPの対象は「国内」であるため、たとえば日本企業が海外で生産したモノやサービスの付加価値は含まない。一方、GNPは「国民」を対象としているため、国内に限らず日本企業の海外支店などの所得も含んでいる。グローバル化の進展にともない、企業の海外活動が活発化し、GNPが国内の経済活動を正確に反映できなくなったため、現在ではおもにGDPが用いられている。

- 1 において、1920年代は、1910年代とどのように異なるのだろうか。
- 2 国ごとに数値が大きく落ち込んだときの原因は何だろうか。

### テーマへのアプローチ

1 第一次世界大戦によって、世界経済の中心はどのように変化したのだろうか。

2 第一次世界大戦の影響は、どのような形で日本におよんだのだろうか。

3 1920年代の日本において不況が長期化し、金融のシステムが不安定化した理由は何だろうか。

	世界	日本
1914	第一次世界大戦開始(7月)	第一次世界大戦参戦(8月)
1915	ドイツ・フランス、金本位制から離脱	大戦景気/中華民国に対し二十一カ条の要求
1917	ドイツ、無制限潜水艦作戦/ロシア革命/アメリカ参戦	アメリカに続き金本位制から離脱
1918	ウィルソンの十四カ条/第一次世界大戦終結	シベリア出兵(~22)
1919	パリ講和会議/アメリカ、金本位制に復帰	
1920	国際連盟設立	戦後恐慌
1921	ワシントン会議(~22)	
1923		関東大震災。震災恐慌。支払猶予令実施
1927		金融恐慌。支払猶予令実施
1928	不戦条約	
1929	世界恐慌	
1930	ロンドン海軍軍縮会議	金輸出解禁(金本位制復帰)/昭和恐慌
1931		金輸出再禁止

### a 井上馨の発言

今回のヨーロッパにおける戦争は、日本国運の発展に対する大正新時代の天佑〔天の助け〕であり、わが国は国を挙げて、この天の助けを受けとめなければならない。

(井上馨侯伝記編集会編『世外井上公伝』)

### b 加藤高明の発言

このような事情で、日本は現在、〔日英〕同盟条約の義務のために参戦しなければならないという状況にはない。条文の規定が、日本に参戦を命じるような事態は、現在、まだ発生していない。ただ1つはイギリスからの依頼による同盟としての付き合い、もう1つは日本がこの機会にドイツの拠点を東アジアから一掃し、国際的な地位を一段と高めるといふ利益から、参戦を断行するのが時機にふさわしい良策だと信じている。(伊藤正徳編『加藤高明』)

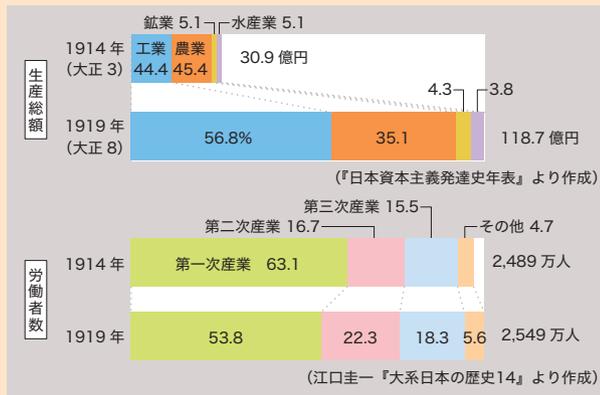
### 2 第一次世界大戦についての発言

当時の井上馨は元老、加藤高明は参戦時の外務大臣として、大隈重信内閣に強い影響力をもっていた。

- 1 第一次世界大戦について、井上馨が「天佑(天の助け)」、加藤高明が「利益」と発言した理由は何だろうか。

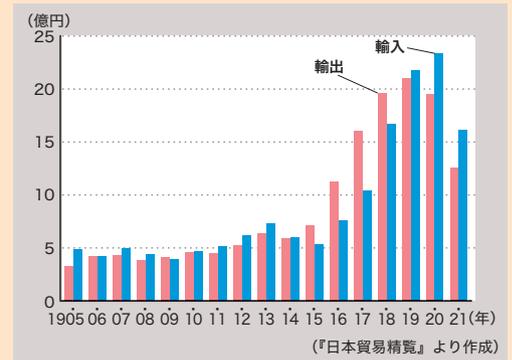
歴史用語だけでなく、現代社会における基本的な教養として重要と思われる概念用語や経済用語も取り上げています。

## A 第一次世界大戦期の日本経済



### 3 産業構造の変化

- 1 第一次世界大戦の前後で、日本の産業構造はどのように変わったのだろうか。
- 2 産業構造の変化により、日本の労働者にはどのような変化がみられたのだろうか。



### 4 日本の貿易額の推移

日本の貿易収支は、明治期は一時期を除いて輸入超過であったが、第一次世界大戦で大きく変化した。

- 1 第一次世界大戦期において、日本の貿易収支が大幅な黒字となった理由は何だろうか。

## 第一次世界大戦直前の日本経済

19世紀末から20世紀初めにかけて、欧米を中心に重化学工業が発達した。その製品は国内だけでは消費できず輸出に向かったため、国際競争が激化し、国際分業関係が深化した。さらにイギリスなどの先進国では、海外投資がさかんになり、国際的な資金の流れが活発になった。

日本は、金本位制の採用以降、少しずつ外資導入を進めてきたが、日露戦争を境に外国債の発行が一気に拡大した。一方、日露戦争後の貿易収支は、綿糸・綿織物や生糸の輸出増にもかかわらず、紡績業の原料である棉花や軍需品、重化学工業製品の輸入が大幅に増加したため、毎年のように赤字であった。これに巨額の外債利払いが加わったことから、第一次世界大戦直前の日本は深刻な国際収支の危機におちいった。

世界史と日本史を関連させてバランスよく記述しています。

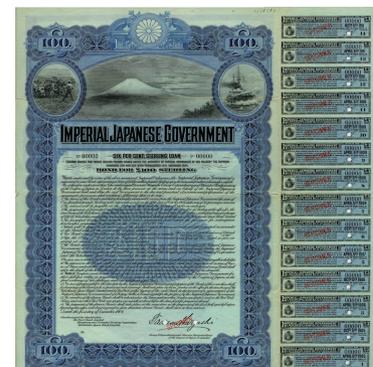
### ▶ 日露戦争での外国債

1903年末に約1億円であった外国債の残高は、13年末には約17億円(地方債1.7億円を含む)になっていた。その規模は、同年の国民総生産(GNP)の3分の1に相当している。日露戦争の戦費は増税と内国債、イギリス・アメリカでの外国債の起債でまかされたが、結果は無賠償であった。

## 第一次世界大戦と世界経済の変容

第一次世界大戦が始まると、国際金本位制が混乱し、金融

決済のシステムや交通(運輸)・通信網は機能麻痺におちいった。ヨーロッパの主要国は、軍需の生産に追われ、一般の工業製品の輸出余力を失った。戦争が予期しない長期戦・物量戦(消耗戦)になるなかで、連合国側の海上封鎖とドイツ側の潜水艦作戦によって貿易は途絶し、船舶不足が深刻化した。その結果、ヨーロッパの植民地や勢力圏が多かったアジア市場では、工業製品の供給不足におちいった。



### 5 日本政府が発行した外国債券(見本)

日露戦争に向けて1904年からイギリス、のちアメリカで発行された。写真の外国債券は額面100ポンド、償還期限7年で、日本政府の実質の手取りは90ポンドであった。(日本銀行金融研究所アーカイブ保管資料)

一方、1917年に連合国側で参戦したアメリカ合衆国は、ヨーロッパに物資や資金(戦時国債)を提供して大きな利益を上げた。そして、戦前からのヨーロッパ諸国に対する債務を返済し、連合国側の発行した戦債を購入することで、債務国から債権国に転じた。

## B 6 第一次世界大戦前後の日本の工業生産量

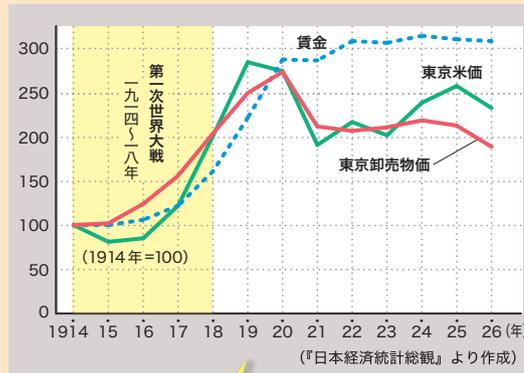
	1913年	1919年	1920年	1924年	1929年	
船舶保有量(万総トン)	152.8	287.0	304.7	356.5	386.2	
汽船建造量(万総トン)	5.5	63.6	48.7	8.5	9.9	
(生産量)	鉄鉄(万トン)	24.0	59.6	52.1	58.6	108.7
	粗鋼(万トン)	38.2	81.3	81.1	110.0	229.4
	綿糸(万トン)	27.5	34.9	33.0	37.6	50.7
	綿布(億ヤード)	4.2	7.4	7.6	10.3	15.4
	生糸(万トン)	1.4	2.4	2.2	2.8	4.2
	石炭(百万トン)	21.3	31.3	29.2	30.1	34.3

(三和良一『概説日本経済史 近現代』より作成)

日本の大戦景気は、まず海運ブームから始まり、船価高騰に刺激された造船業が続いた。その後、輸入途絶で品薄となった化学工業・鉄鋼業・機械工業が好況となり、やや遅れて輸出拡大に牽引された繊維工業が活況を呈した。

- 1 日本的好景気の原因を表から読みとってみよう。
- 2 ヨーロッパの戦況が日本やアメリカの大戦景気に与えた影響について、ブームの波及状況に注目して考えてみよう。

## C 7 第一次世界大戦開始後の物価指数の推移



大戦景気が本格化した1916年以降、卸売物価の上昇が始まり、17年からは米価も高騰しはじめた。

日本史部分は統計などのデータを豊富に掲載しています。

- 1 大戦中と大戦後の賃金と物価の差は、それぞれ何を意味するのだろうか。
- 2 賃金の上昇は、のちの日本経済にどのような影響を与えたのだろうか。



明るくするために燃やされている百円札。百円札は当時の最高額紙幣である。(倉本美穂蔵)

### 8 「成金」

#### ▶▶ 在華紡

日本の民間紡績会社が、安価な労働力および中国市場の確保を目的として、中国に設立した工場。資本輸出(直接投資)の1つ。

#### ▶▶ 日本の債権国化

1914(大正3)年に11億円の債務国であった日本は、1920年には27億円以上の債権国になった。

#### ▶▶ 物価上昇

大戦中は、賃金の伸びが物価の伸びに追いつかず、実質賃金は低下していた。その後の戦後恐慌時は、不況にもかかわらず物価高や賃金高が続き、企業の経営を圧迫した。

#### ▶▶ 金本位制復帰

戦後の通貨価値を安定させ、国際経済秩序を再建するために国際金本位制の再建が必要とされ、1922年のジェノア会議以降、ヨーロッパ主要国はつぎつぎに金本位制に復帰した。1928年のフランスの復帰によって、主要国で金本位制に復帰していないのは日本だけになった。

## 大戦景気と日本経済

第一次世界大戦の開戦後、日本は日英同盟を理由にドイツに宣戦し、連合国の一員となった。そして、イギリスやロシアなどの連合国には軍事物資や食料品を、アジア市場には綿織物や雑貨を、大戦景気に沸くアメリカ市場には生糸を輸出した。こうした輸出の拡大によって貿易業が活性化し、繊維産業をはじめとする軽工業が好況になった。

また世界的な船舶不足が、海運業や造船業に空前の好景気をもたらし、船成金を生み出した。造船業の急成長によってほかの機械工業や鉄鋼業も発展した。とくに交戦国となったドイツからの輸出品が途絶したことから薬品や染料、肥料といった化学工業の勃興をうながしたため、重化学工業化の端緒が開かれた。

大戦期における貿易の大幅な輸出超過によって、日本は国際収支の危機を脱し、在華紡をはじめとする対外投資や対外貸付(借款)も急拡大して、アメリカと同様に債務国から債権国に転じた。しかし大戦景気は急激な物価上昇を引きおこし、大戦末期には多くの都市民衆を苦しめた。また工業の飛躍的な発展に比べて、農業の発展は停滞的であった。

## 第一次世界大戦後の経済再建

1918年に第一次世界大戦は終結したが、ヨーロッパの交戦国にとって、4年間におよぶ総力戦・消耗戦の打撃は深刻で、その経済復興には時間を要した。そのため、主戦場から離れていたアメリカや日本には、戦後ブームと呼ばれる短期的な好況が訪れた。大戦期に巨額の外貨を蓄積したアメリカは、1919年にはいち早く金本位制に復帰し、国際金融市場の中心

**D 9 金融恐慌時の取付け騒ぎ** (1927年3月、東京中野銀行)



当時、銀行は関東大震災で不良債権となった震災手形を多く抱えていた。銀行の経営悪化が明るみになると、預金者は預金全額を引き出そうと銀行に押し寄せ、取付け騒ぎが発生した。

**1** 金融恐慌を境に銀行の集中合併がおき、財閥系の銀行が急成長した。それはなぜだろうか。

**E 10 裏白紙幣** (1927年4月)



金融恐慌の際、預金者の不安をしずめるために、急ぎよ増刷された200円紙幣。印刷が間に合わず、裏面は白紙のままであった。(日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵)



**1** この紙幣は、どのような目的のために発行されたのだろうか。

の1つとなった。

ヨーロッパ諸国の復興が進み、その商品がアジア市場に戻ってくると、日本の貿易収支は再び輸入超過となり、大戦期に急激に伸びた重化学工業は、好景気中の過剰な設備投資や原料確保の影響もあり、一転して苦境に立たされた。1920(大正9)年には、欧米諸国に先んじて戦後恐慌が発生し、投機的取引がおこなわれていた株式や綿糸・生糸の相場が大暴落した。

**1920年代の日本経済**

1923(大正12)年9月1日、関東大震災が発生すると、政府は経済混乱をおさえるため震災手形の取立てを一定期間猶予するという救済策(支払猶予令)を打ち出した。ところが震災手形の大口債務者には、震災以前の戦後恐慌で打撃を受けた会社が含まれていたことから、猶予期間が過ぎても決済が進まず、淘汰されるべき企業をかえって延命させる結果となった。

1927(昭和2)年、不良債権化した震災手形をもつ銀行への取付け騒ぎが発生し、全国的に銀行の休業があいつぐ事態となった(金融恐慌)。金融恐慌の発生を受けて成立した田中義一内閣は、再び支払猶予令を発令し、日本銀行からの巨額の融資を実施して恐慌状態をしずめた。しかし、それは公的資金を導入して経済の破綻を一時的に回避しただけにとどまり、大戦中に成長した重化学工業の国際競争力不足と、震災復興などによる輸入増加にともなう貿易収支の悪化という構造的な問題を解決するには至らなかった。

1929(昭和4)年に浜口雄幸内閣が成立すると、大蔵大臣の井上準之助は、貿易収支を改善し、為替相場を安定させて、欧米諸国との対等な地位を維持するため、金本位制への復帰(金輸出解禁)をめざした緊縮財政と産業合理化を始めることになった(井上財政)。

国名	金輸出禁止	解禁	再禁止
日本	1917.9	1930.1	1931.12
イギリス	1919.4	1925.4	1931.9
アメリカ	1917.9	1919.7	1933.4
ドイツ	1915.11	1924.10	1931.7
フランス	1915.7	1928.6	1936.9
イタリア	1914.8	1927.12	1934.5

**11 各国の金解禁状況**

金本位制のもとでは、金の輸出入(支払い)は自由化されているが、戦争など様々な理由により取引を停止した。

ゴシック文字は数を絞ってテーマのキーワードに付しています。

**▶▶ 関東大震災**

重工業化が進むなか、京浜工業地帯が壊滅的に被災し、輸出が激減した。復興資材の輸入も加わり貿易収支が悪化した。

**▶▶ 震災手形**

震災の被災者が債務者である手形。日本銀行が再割引したが、それでも未決済の震災手形が不良債権化して銀行の経営を圧迫した。

**▶▶ 支払猶予令(モラトリアム)**

債務期限を強制的に延期すること。日本では関東大震災時に1カ月、金融恐慌時に3週間延期した。

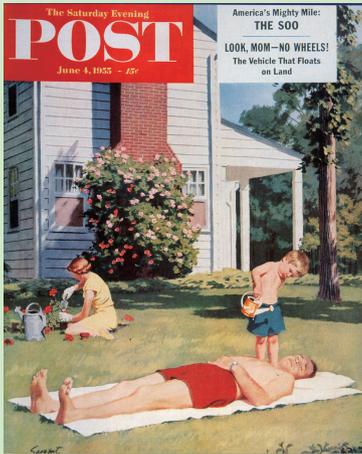
**12 井上準之助(1869~1932)**

日本銀行総裁。1929年、浜口雄幸内閣の大蔵大臣に再就任。財政整理をめざした緊縮財政と産業合理化を推進し、1930年には金解禁を実施した。1932年、血盟団により暗殺された。(国立国会図書館蔵)



# 東西両陣営の動向と1960年代の社会

東西両陣営の社会は、  
どのように変わったのだろうか？



① アメリカの郊外住宅地の家族像  
(「The Saturday Evening POST」表紙、1955年)



② 「偉大なスターリンのもとで共産主義に進進しよう！」(ソ連、1951年)

①①②は、アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営・ソ連を中心とする共産主義陣営の社会の理想をそれぞれどのように描いているのだろうか。

②①②の理想と実際とはどのような違いがあったのだろうか。

## テーマへのアプローチ

1 アメリカ合衆国および西ヨーロッパ諸国の関係は、どのような変化をみせたのだろうか。

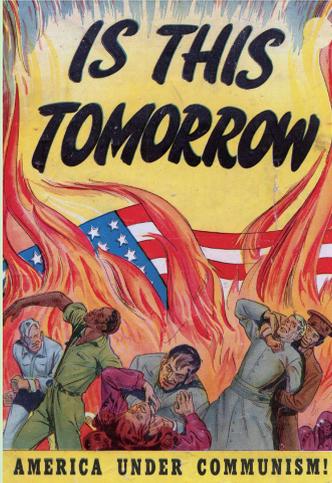
2 ソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力は、1950年代・1960年代でどのように変化したのだろうか。

3 1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのだろうか。

そのテーマに即して整理した年表で、タテとヨコのつながりの理解と定着に役立ちます。

	アメリカ合衆国	西ヨーロッパ諸国	ソ連/東ヨーロッパ諸国	日本
1949	北大西洋条約機構(NATO) 成立	ベルリン封鎖解除 ドイツ連邦共和国(西ドイツ) アデナウアー内閣(西ドイツ)	原爆実験(ソ) ドイツ民主共和国(東ドイツ)	
1950	「赤狩り」旋風	シューマン=プラン発表	中ソ友好同盟相互援助条約	朝鮮戦争特需の発生
1951	太平洋安全保障条約(ANZUS)			サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約調印
1952	水爆実験	ECSC 発足		
1953	アイゼンハワー大統領就任(共) 「巻き返し政策」		スターリン死去 反ソ暴動(東ドイツ)	
1954		ジュネーブ休戦協定(仏) アルジェリア独立戦争(仏、~62)		第五福竜丸事件 自衛隊発足
1955	バス=ボイコット運動(~56)	西ドイツ、主権回復 西ドイツ、NATOに加盟 ジュネーブ4巨頭会談/西ドイツ、ソ連と国交回復	ワルシャワ条約機構成立	高度経済成長始まる 第1回水爆禁止世界大会
1956		第2次中東戦争に英・仏出兵	フルシチョフのスターリン批判 コミンフォルム解散 ポーランド反ソ運動 ハンガリー事件	日ソ共同宣言 国際連合加盟
1958		EEC・EURATOM発足 第五共和政(仏)		
1959	フルシチョフ訪米	ド=ゴール大統領就任	フルシチョフ訪米	安保闘争
1960	U2撃墜事件	EFTA 発足		日米新安全保障条約
1961	ケネディ大統領就任(民)		ベルリンの壁建設	
1962	キューバ危機	アルジェリア独立承認(仏)	キューバ危機	
1963		部分的核実験禁止条約調印(米・英・ソ)フランスは調印拒否/米ソ間のホットライン ジョンソン大統領就任(民)		
1964	公民権法成立	中華人民共和国承認(仏)	ブレジネフ第一書記	オリンピック東京大会
1965	北爆▶ベトナム戦争			日韓基本条約
1966		NATO軍事部門離脱(仏)		
1967		EC発足		
1968	キング牧師暗殺	五月危機(仏)	「プラハの春」	
1969	ニクソン大統領就任(共)	ブラント内閣(西ドイツ)		

**A** 1940年代後半から50年代のアメリカ合衆国



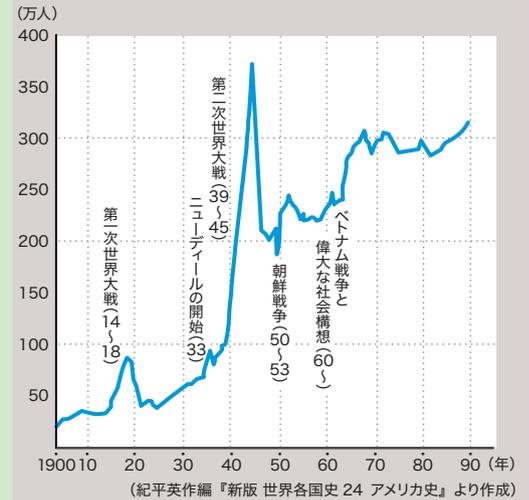
③ 「明日はこうなる」(アメリカの漫画の表紙、1947年)

この事実[社会主義圏人口の増大]は、冷戦における共産主義者の急速なテンポでの勝利とアメリカの敗北を意味しています。……「偉大な民主主義国家が崩壊するのは、外からの敵によってではなく、内からの敵によるのであります。……私見によれば、政府のもっとも重要な省庁の1つである国務省は共産主義者によって徹底的に荒らされているのです。……彼らは、共産党の正式党员であるか、または確実に忠誠を誓っていると思われる人物で、それにもかかわらず、今なおわが国の外交政策の立案に関わっている人々なのです。  
(歴史学研究会編『世界史史料11』)

④ マッカーシー上院議員の演説(1950年)

- ① ③④から、1940年代後半から50年代のアメリカはどのような風潮にさらされていたとみることができるだろうか。
- ② その背景には何があったのだろうか。

**B** ⑤アメリカ連邦公務員(文官)数の推移



- ① ⑤から、20世紀のアメリカは基本的に政府・行政の規模に関して、どのような政策をとってきたといえるだろうか。

世界史は風刺画やポスターなど、ビジュアルな資料を豊富に掲載しています。

**アメリカ合衆国の動向**

1950年代のアメリカ合衆国では、郊外において、白人の中産階級が居住する一戸建てからなる均一的な社会が形成された。職場と自宅を結んだのは、政府の支援も得て建設された高速道路網と大量に供給された自家用車であった。1950年代には一時的に景気後退に見舞われたが、1960年代には経済が順調に成長し、豊かな社会を実現した(「黄金の60年代」)。ただし、冷戦のもと、強い反共主義のなかで1950年からは「赤狩り」旋風がおり、知識人や公務員の思想追及運動となった。

1945年以降、政権は民主党のトルーマン、共和党のアイゼンハワー、そして民主党のケネディ、ジョンソンと交代したが、基本的にはニューディール的な大きな政府路線が合意された。とくに1960年代には黒人も対象にした大規模な貧困対策、人種差別を撤廃する公民権法(1964年)、高齢者に対する政府の医療保険などが実現した。1965年にはすべての国に開かれた移民制度が実現し、結果的にラテンアメリカおよびアジアからの移民が飛躍的に増加した。

**西ヨーロッパ諸国の動向**

マーシャル=プランの援助を受けた西ヨーロッパ諸国の経済的復興はめざましく、1950年から70年の20年間は高い経済成長率が続いた。ほとんどの国で国民への再分配的政策が実施され、年金・失業対策・生活保護などが充実した。おもに労働者あるいは労働組合の支持を受けた政党が主導権を握

1950年代のアメリカ合衆国では、郊外において、白人の中産階級が居住する一戸建てからなる均一的な社会が形成された。職場と自宅を結んだのは、政府の支援も得て建設された高速道路網と大量に供給された自家用車であった。

⑥ アイゼンハワー(1890~1969)

アイゼンハワーは軍人であったが、冷戦の戦い方については慎重であり、国防費を減額した。ただし、その分安価な核兵器を増強した。彼は軍部と軍需産業の不当な影響力について警告した軍産複合体批判で有名であり(1961年)、第三世界への軍事的介入にも慎重であった。後任のケネディは逆に強硬な態度でリ連にのぞみ、ベトナムへの介入も強化した。



⑦ アメリカの郊外新興住宅地

▶▶ 大きな政府、小さな政府

ニューディール期以来、アメリカでは、雇用の維持、失業者救済、年金、労働者の権利確保などのために、連邦政府が積極的な役割を果たすべきという大きな政府論が台頭し、民主党がその立場を支持した。それに対して、共和党は小さな政府の立場に立ち、連邦政府の役割を限定しようとした。

## C ド=ゴールの政策

われわれは、各地の超大国が変容しつつある世界に生きている。遅れた人民として軽蔑されたくなければ、科学・経済・社会の領域で急速な発展を実現しなければならない。この至上命題を実現するためには、フランス国民とりわけ青年層のなかに芽生えつつある成功への情熱が重要である。わが国の諸制度は、この点を尊重する方向に改革されなければならない。すなわち、フランスの農工業を革新しなければならない。人々に、生活・労働・教育・居住を保障しなければならない。



### 8 ド=ゴールの演説(1958年)

1 ド=ゴールが 8 の演説をおこなった時、フランスはどのような問題を抱えていただろうか。

2 ド=ゴールはこの演説のなかで、フランスはどうあるべきであり、何が必要だといっているだろうか。

3 9 から、ド=ゴールはどのような外交を展開したといえるだろうか。

### 9 フランスを訪問するフルシチョフ(右)とド=ゴール(左)(1960年)

## D 10 フルシチョフの「スターリン批判」(1956年)

ある特定の人物を……神にもいた超自然的な能力をもつ超人に仕立て上げることは、マルクス=レーニン主義にとっては許しがたいことであり、また無縁のものであります。……スターリンは集団的な指導とか集団的な仕事にはまったく我慢できず、……説得や説明、あるいは人々との忍耐強い協力という方法には頼らず、自分の考えを暴力的に押しつけ、無条件に服従させるという方法をとっておりました。このような事態に反対したり、自分自身の見解の正しさを証明しようと試みた人々は、指導部からはずされたり、ひいては精神的、肉体的に抹殺される運命におちいたのであります。  
(志水速雄『「スターリン批判」全訳解説』)

フルシチョフは、1956年第20回共産党大会で、資本主義世界との平和共存、社会主義の道の多様性を承認する方針を提示するとともに、スターリンに関する報告をおこなった。

1 フルシチョフはスターリン体制の何を批判したのだろうか。

2 これは、東ヨーロッパ諸国や中国ではどのように受けとめられたのだろうか。

### ▶▶ ベネルクス 3 国

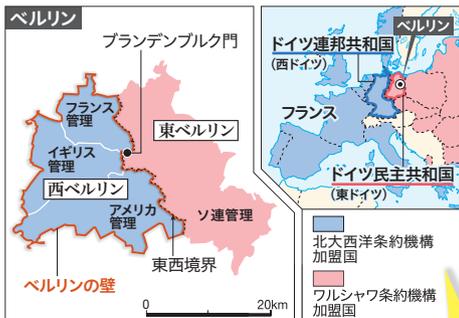
ベルギー・オランダ(ネーデルラント)・ルクセンブルクの3国。その立地やドイツ・フランスの対立によるたびかさなる戦争の経験から、ヨーロッパ統合の中心となった。

### ▶▶ 西ドイツの経済復興

1960年には、西ドイツの国民所得は東ドイツの2倍となり、同年の1000人当たり車保有台数も西ドイツの67台に対し、東ドイツは8台であった。



### 11 ベルリンの壁建設(1961年)



### 12 ベルリン分割

ったが、保守系の政党も、ある程度高度な福祉国家路線を受け入れた。また、戦争をしない仕組みとして、フランス外務大臣シューマンの提案でフランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス3国を中心に石炭鉄鋼共同体(ECSC)が結成されるなど、西ドイツとフランスが新しい協調の関係を確立していった。この動きはヨーロッパ統合へとつながった。

フランスでは政治的不安定が続き、1958年にはアルジェリア独立問題を解決できずに第四共和政が崩壊したが、新たに発足した第五共和政のもと、大統領になったド=ゴールはアルジェリア独立を認め、フランスの政治も安定した。ド=ゴールは核兵器の保有、中華人民共和国の承認(1964年)、NATOへの軍事協力拒否など、アメリカから距離をおいた政策を実践した。

西ドイツは首相アデナウアーのもとで、奇跡といわれた経済的復興をあげた。1955年にNATOに加盟して再軍備が認められ、ソ連との国交も回復した。それに対してイギリスは、1960年代の経済危機とポンド切り下げ問題に悩まされた。また、第2次中東戦争でスエズ以東から撤兵するなど、世界での影響力を縮小させつつあった。

## 東ヨーロッパ諸国とソ連の動向

表現の自由や政治結社の自由をもち、同時に繁栄を謳歌しつつあった西ヨーロッパ諸国と比較すると、東側は政治的自由が制限されただけでなく、経済的にも停滞しつつあった。格差の象徴は東西ベルリンであった。すでに1953年に東ベルリンでは暴動がおき、ソ連によって鎮圧された。また、1949年から61年までの13年間に、約273万9千人が東ドイツから西

## 目「プラハの春」とソ連の対応

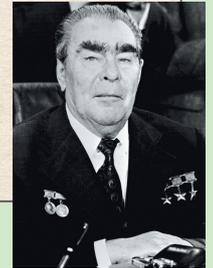
……社会主義に対する不安や、社会主義の人道的使命、その人間的な顔が失われているのではないかと、という恐れが生まれてきた。……私たちは、新しい、深く民主的で、チェコスロヴァキアの条件にあった社会主義社会のモデルの建設に進みたいと考えるのである。(歴史学研究会編『世界史史料11』)



14 チェコスロヴァキアの指導者ドブチェク

社会主義に敵対的な内外の勢力が、いずれかの社会主義国の発展を資本主義的秩序の復活の方向に転換せしめようと試みる時、……社会主義共同体全体の安全に対する脅威が発生する時は、これはもはや、その国の国民の問題であるのみならず、すべての社会主義諸国の共通の問題、憂慮すべきこととなるのである。社会主義体制に対する脅威を断つために兄弟国に軍事援助といった行動をとることは、……やむをえざる措置であり……社会主義陣営の共通の利益に脅威をつくり出す行動に対してのみとられるものであるということは当然のことである。

(鹿島平和研究所編『現代国際政治の基本文書』)



17 プレジネフ

### 13 チェコスロヴァキア共産党行動綱領(1968年)



当事者の言葉によって本文のより深い理解へと導きます。

### 16 制限主権論(1968年)

### 15 ソ連の軍事介入に抗議するプラハ市民

- 1968年のチェコスロヴァキア共産党は、どのような方針をとったのだろうか。
- ソ連はどのような理由から、どのような対応をチェコスロヴァキアに対してとったのだろうか。

ドイツへ流出していた。東ドイツはついに1961年、人材の流出を防ぐために、東西ベルリンの境界線上に壁を築いた(ベルリンの壁建設)。

ソ連では、1953年にスターリンが死亡すると、実権を握ったフルシチョフが、56年、スターリン批判をおこない、スターリンの独裁・粛清・個人崇拜を批判した。

これに触発されて、ポーランドやハンガリーでは自由化や、ソ連支配からの解放を求める動きがおこった。ポーランドは政府がこの動きをおさえこんだが、ハンガリーはソ連軍が介入し、親ソ政権が成立した。

ソ連は1955年からジュネーヴ4巨頭会談をおこなって平和共存路線を打ち出し、59年にはフルシチョフがアメリカを訪問するなど「雪どけ」を印象づけた。しかし、フルシチョフは1961年には西側軍隊の西ベルリンからの撤退を求め、革命後のキューバに核ミサイル基地を建設する(1962年)など、その行動は対決的で挑発的であった。

1968年、チェコスロヴァキア政府は、国民の支持を得ながら政治と経済の自由化に着手した(「プラハの春」)。しかし、ブレジネフ第一書記が率いるソ連は、ワルシャワ条約機構軍を動員して、この動きをおさえこんだ。このようにソ連圏に存在する共産主義政権は、ソ連の意向に反する決定をおこなうことが許されず、それを実行しようとするればソ連の軍事力で阻止された。この考え方は、西側では制限主権論として知られるようになった。

### 18 フルシチョフ(1894~1971)

スターリンの死後、ソ連の最高指導者となり、1956年のソ連共産党大会において、スターリン批判をおこない、集団指導体制を掲げた。西側との平和共存外交、冷戦の「雪どけ」で知られるが、西側は結局ソ連の膨張主義的な行動を受け入れるだろうとみなした面もある。写真は訪米中にホットドッグを食べるフルシチョフ。



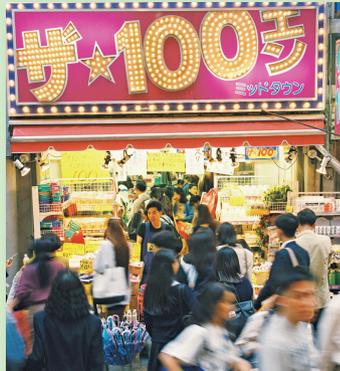
### 19 ジュネーヴ4巨頭会談

第二次世界大戦後の西側とソ連首脳との初の会談で、「雪どけ」の象徴となった。写真は右からイーデン(英)・フォール(仏)・アイゼンハワー(米)・ブルガーニン(ソ)。この英・仏・米首脳と会談に出席したフルシチョフ共産党第一書記を4巨頭という。

# 現代の東アジア

今日の東アジアの国々には、  
どのような課題があるのだろうか？

日本を含めた現代の東アジアについて、  
1テーマでまとめています。



## ① 100円ショップ(1990年代)

1990年代、日本の100円ショップ  
の商品の多くは安価な中国製だった。



## ② 日系コンビニエンスストア の中国進出 1号店(上海、1996年)

2000年代には日本の商店の  
中国進出が活発になった。



## ④ 躍進する中国の通信機器

スマートフォンなどの電子機器  
分野でも中国製が普及した。

特に日本と関わりの  
深い中国の経済発展  
を取り上げました。



## ③ 家電量販店(2010年代)

2010年代の日本の家電量販店では、中国語を始  
めとした外国語表記が増加した。

①①～④のような変化は、東アジアの政治や経済のどのような関係を反映しているのだろうか。

### テーマへの アプローチ

1 中国はどのようにして経  
済大国化したのだろうか。

2 東アジア諸国の民主化のあり方と  
国際関係は、どのような関係にあ  
るのだろうか。

3 高度経済成長を終えたのち、  
日本はどのような課題を抱  
えてきたのだろうか。

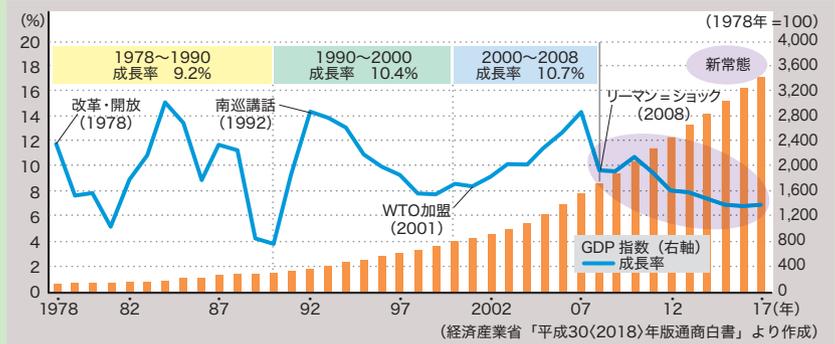
	1970	1980	1990	2000	2010
	71ドル=ショック		89冷戦終結	01同時多発テロ事件	08リーマン=ショック
日本	高度経済成長の終焉 公共事業の拡大	財政再建の課題 国营事業民営化	91平成不況	社会保障の縮小	09民主党 12自民党
中国	76毛沢東死去 78鄧小平の改革・開放		89民主化運動と弾圧	年率10%以上の成長	10GDP世界2位
台湾	国民党支配		86民進党発足 88李登輝の政策	96初の直接選挙 00政権交代	
韓国		80全斗煥の軍事独裁	87盧泰愚の民主化宣言	00金大中の平壤訪問	
北朝鮮			94金日成死去	97金正日政権	11金正恩政権

**A 改革・開放政策**



5 **中国のファストフード店(北京、1992年)**

1 **5**は中国のどのような政策の変化を象徴しているのだろうか。



6 **中国のGDP(国内総生産)と経済成長率**

改革・開放政策が進むにつれて、中国のGDPは着実にのびていった。経済成長率もおおむね高かったが、1989年には一時的に落ち込んだ。そこで、1992年の旧正月に鄧小平は中国南部を巡回して経済発展の重要性を訴えた(南巡講話)。

1 **6**から、改革・開放以降の中国の経済成長率と、日本の高度経済成長以降の数字(→p.204)を比べてみよう。1989年に一時的な落ち込みがあるのは、なぜだろうか。

**中国の経済成長と大国化**

毛沢東の死後、1978年からは**鄧小平**が中国の指導権を握った。鄧小平は中国

の経済発展が急務と考え、**改革・開放政策**を展開していった。

鄧小平は、日本やアメリカ合衆国・西ヨーロッパ諸国との交流を進めて先進技術の導入をはかるとともに、ソ連との関係改善にもつとめ、1989年にはゴルバチョフが北京を訪問した。しかし、共産党の腐敗を批判し民主化を求める運動が高まると、中国政府は武力で鎮圧した(**天安門事件**)。

1990年代に入ると、中国では国営企業改革が進むとともに、民間企業の意欲的な経営によって経済発展がみられた。1997年にはイギリスから香港を返還され、香港の資本主義制度を維持することを約束した(**一国二制度**)。

21世紀に入ると、中国は世界貿易機関(WTO)に加盟し、繊維製品だけでなく電器製品なども輸出する輸出大国となるとともに、世界有数の巨大な市場として期待されるようになった。しかし、内陸部と沿海部とのあいだには経済格差があり、その解消が課題となっている。また、1979年に人口抑制をめざして導入された「**一人っ子政策**」の影響もあり、少子高齢化が急速に進むことが確実となった。中国は経済力・軍事力を背景に、国際的な発言力を強め、その海洋進出は、日本・台湾・フィリピン・ベトナムなどとの領土をめぐる対立をもたらしている。また、国内の人権抑圧や民族問題については、国際的な批判を受けている。

**台湾・韓国・北朝鮮の動向**

1980年代の台湾は経済発展が続いたが、国民党の**一党支配**が続くなかで、民主化を求める世論も強まった。1986年には野党として**民主進歩党**(民進

**7 鄧小平(1904~97)**

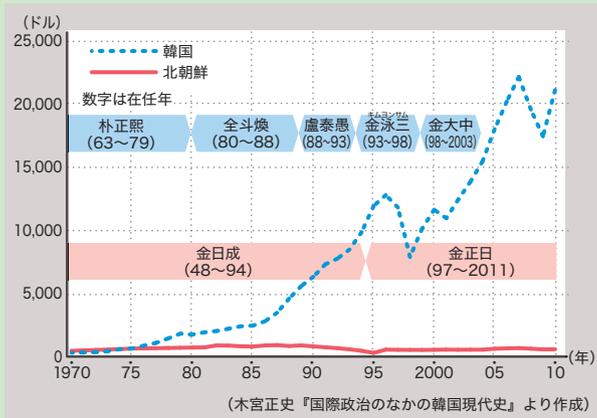
プロレタリア文化大革命で失脚するが復活し、改革・開放政策を推進した。「黒猫でも白猫でもネズミを捕るのがよい猫だ」という有名な言葉を残している。



**8 天安門事件**

1989年4月、胡耀邦元総書記の死をきっかけに、北京の天安門広場で学生らが政治改革を訴え、広場には毛沢東の肖像と向き合うように「民主の女神」像が建てられた。デモはしだいに拡大して全国の都市に広がった。中国政府は軍隊を動員して武力弾圧をおこなったため、諸外国からの非難が高まった。

## B 南北朝鮮の経済と外交



### 9 南北朝鮮の1人当たりGDP (国内総生産)

- 1 韓国と北朝鮮の経済力の関係は、どのように変化したのだろうか。
- 2 韓国と比べて経済力で大きく差をつけられた北朝鮮は、どのようにして体制を維持しようとしたのだろうか。



### 10 南北首脳会談

韓国と北朝鮮とは、軍事的に対峙するとともに、経済力においても競争を展開した。外交面では、両国ともに1991年に国連に加盟し、2000年には初めて両国の首脳(金正日<small>左</small>と金大中<small>右</small>)の会談が実現した。



### 11 国連本部前に掲げられた韓国・北朝鮮の国旗(1991年)

歴史認識や東アジアの国々との交際考察のきっかけとなるよう、村大きく取り上げました。

### 12 李登輝(1923~ )

日本植民地時代の台湾に生まれ、京都帝国大学に学んでいた時、学徒出陣で日本軍に配属された。日本の敗戦後は台湾大学を卒業したのちアメリカに留学した。国民党員となって蔣経国政権に加わり、1988年には総統に就任した。国民党による一党支配時代の体制を改革することにつとめ、1996年に実施された最初の総統直接選挙で当選した。



党)が結成された。蔣経国総統の死後、台湾出身の李登輝が総統の地位を引き継ぎ、政治的な自由化につとめた。1996年には初めて総統の直接選挙がおこなわれ、李登輝が当選した。その後、選挙による政権交代が定着していったが、大国化する中国との関係が課題となっている。

韓国では、朴正熙が暗殺されたあと1980年に成立した全斗煥の軍事政権が、光州事件などで民主化を求める民衆を弾圧した。1987年には、ふたたび民主化運動が高まり、全斗煥大統領から後継者に指名されていた盧泰愚は民主化宣言を発表し、大統領の直接選挙をおこなうことを約束した。選挙で勝利した盧泰愚が大統領になったが、その後は野党陣営も取り込んだ政権運営が進んだ。1993年以降は、軍人出身ではない大統領が続いている。

北朝鮮では経済が停滞するなか、1994年に金日成が死去すると、息子の金正日が権力を掌握した。ソ連が消滅して社会主義政権の正当性が危機に直面したが、金正日は体制の維持につとめた。金日成の時代から進めていた核兵器の開発は、1994年、アメリカのクリントン政権(民主党)との交渉を経て、いったんは凍結した。また2000年には韓国の金大中大統領が平壤を訪問して金正日と会談した。2002年には日本の小泉純一郎首相が訪朝し、国交正常化をめざしたが、日本人拉致問題などが明らかとなり、交渉は停滞した。その後、ふたたびアメリカとの緊張が高まり、核兵器やミサイルの開発を誇示するようになっている。

### ▶▶ 細川護熙内閣

日本新党・日本社会党・新生党・公明党・民社党・新党さきがけ・社会民主連合・民主改革連合が連立した内閣で、自民党を含まなかった。

### 苦悩する「経済大国」日本

用を増やすため公共事業費を増やし、また少子高齢化が始まるなか、年金

1970年代に高度経済成長が終わりを迎えるなか、自民党政権は地方で雇

**C 13 村山内閣総理大臣談話「戦後50周年の終戦記念日にあたって」(1995年8月15日)**

……今、戦後50周年の節目に当たり、われわれが銘記すべきことは、来し方を訪ねて歴史の教訓に学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らないことでもあります。

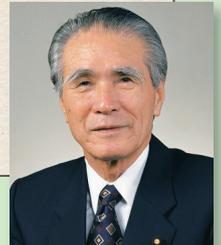
わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に誤り無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここに改めて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。また、この歴史がもたらした内外すべての犠牲者に深い哀悼の念を捧げます。

敗戦の日から50周年を迎えた今日、わが国は、深い反省に立

ち、独善的なナショナリズムを排し、責任ある国際社会の一員として国際協調を促進し、それを通じて、平和の理念と民主主義とを押し広めていかなければなりません。同時に、わが国は、唯一の被爆国としての体験をふまえて、核兵器の究極の廃絶をめざし、核不拡散体制の強化など、国際的な軍縮を積極的に推進していくことが肝要であります。これこそ、過去に対するつぐなうとなり、犠牲となられた方々の御霊を鎮めるゆえんとなると、私は信じております。

「杖は信に如くは莫し」と申します。この記念すべき時に当たり、信義を施政の根幹とすることを内外に表明し、私の誓いの言葉といたします。

(外務省「村山内閣総理大臣談話」)



14 村山富市

村山談話は、2005年8月15日の小泉純一郎首相談話、2015年8月14日の安倍晋三首相談話でも引き継がれ、日本政府の統一した見解を示すものとなっている。

- 1 13の見解が戦後50年を経てようやく出された背景には、どのような歴史があるのだろうか。
- 2 この談話が出されたことには、日本と東アジアの国々との関係のなかで、どのような意義があったのだろうか。

や医療などの社会保障費を増やした。これらは財政赤字の拡大をもたらし、1980年代には国営事業の民営化や消費税の導入がおこなわれた。

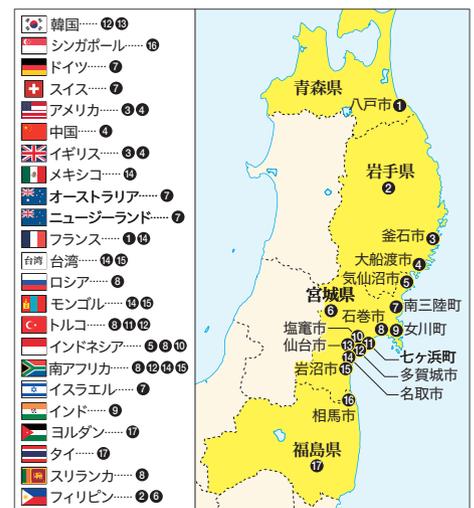
1990年頃からは長期の不況が始まった。自民党は違法な政治献金で批判を集め、1993(平成5)年には38年ぶりに政権を失った。これにかわった細

川護熙内閣は選挙制度を改革した。

自民党は、社会党党首の村山富市を首相とする連立内閣で政権に復帰し、その後は自民党が首相を出す内閣が続いた。公明党などと連立した小泉純一郎内閣は不況からの脱出と財政再建をめざし、大規模な規制緩和や公共事業費の削減、社会保障費の見直しなどをおこなったが、雇用の流動化などにより所得格差の拡大が進んだ。2008(平成20)年の世界金融危機(リーマン=ショック)は、日本経済にも打撃を与えた。2009(平成21)年には民主党などの連立政権が生まれたが、2012(平成24)年には自民党・公明党の連立政権となった。

この間、1995(平成7)年の阪神・淡路大震災と2011(平成23)年の東日本大震災は多くの人命を奪い、日本社会に大きな傷跡を残した。

グローバル化が進むなかで、アジア諸国、なかでも中国や韓国との交流は密接になった。その反面、アジア諸国とのあいだでは、過去の間隔をどうとらえるかが問題となった。こうしたなかで1995年8月15日、村山首相は戦後50年の終戦記念日にあたり、過去の植民地支配と侵略について反省とおわびの意を表し(村山談話)、以降の内閣もこの立場を継承している。



**15 東日本大震災で救助隊を派遣した国と地域 (2011年9月)**

1995年1月17日、京阪神地方をマグニチュード7.3の大地震が襲い、死者は6400人をこえた(阪神・淡路大震災)。2011年3月11日にはマグニチュード9.0の東日本大震災がおり、津波などで2万5千人をこえる死者・行方不明者が出るとともに、東京電力福島第一原子力発電所で事故がおこった。震災での救難や復興には諸外国から救助隊が派遣されるなど、様々な支援があった。

**▶▶ 韓国との交流**

韓国では日本の大衆文化を禁止していたが、1998年に金大中大統領はそれを緩和する方針を打ち出した。逆に2002年の韓国ドラマ「冬のソナタ」は翌年には日本で放映されて人気を集めた。

〔著作者〕 久保 文明 東京大学教授  
中村 尚史 東京大学教授

小田中直樹 東北大学教授  
塩出 浩之 京都大学准教授  
島田 竜登 東京大学准教授  
守川 知子 東京大学准教授  
吉澤誠一郎 東京大学教授  
荒木 圭子 東海大学准教授  
島津 聡 東京都立八王子東高等学校教諭  
高橋 哲 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭  
津野田興一 東京都立日比谷高等学校教諭  
藤本 和哉 筑波大学附属高等学校教諭  
山川 志保 お茶の水女子大学附属高等学校教諭

株式会社 山川出版社

(所属は2021年3月末現在)

#### 表紙写真

1804 ナポレオンの戴冠  
1889 「憲法発布式」(和田英作) 聖徳記念絵画館蔵  
1920s 1920年代のアメリカ・マンハッタンの摩天楼  
1927 社会主義の成果を誇るポスター  
1962 ソ連の科学技術(世界初の有人宇宙飛行)  
1969 アポロ11号による人類初の月面着陸  
1969 ウッドストック=フェスティバル  
1970 日本万国博覧会(大阪万博)  
1989 ベルリンの壁の開放  
2019 国連安全保障理事会の様子

#### AB判 262頁

写真 555点  
地図 112点  
グラフ・図表 178点  
文字資料 177点  
2次元コード 16点

81 山川 歴総708

## 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ダイジェスト版

著作者 久保文明 中村尚史(ほか12名)  
発行者 株式会社 山川出版社 代表者 野澤武史  
東京都千代田区内神田1-13-13  
印刷者 株式会社 加藤文明社 代表者 加藤文男  
東京都千代田区神田三崎町2-15-6  
発行所 株式会社 山川出版社  
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13  
電話 03(3293)8131(代)

小社ホームページでもご案内いたしております。  
歴史総合教科書の紹介動画もございますので、ぜひご覧ください。

山川HP  
歴史総合  
特設サイト



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13  
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469

<https://www.yamakawa.co.jp/>